九州地方整備局 (港湾空港関係)

工事の総合評価落札方式の 評価項目と配点の考え方

【令和7年10月版】

令和7年10月1日以降の公告案件より適用する。

令和7年9月 国土交通省 九州地方整備局 港湾空港部

はじめに

公共工事は、調達時点で品質を確認できる物品購入とは異なり、入札で落札者となった施工者の技術力によって品質が左右されます。このため、発注者は個々の工事の内容に応じて、適切な技術力を持つ企業を施工者として選定するとともに、適切な監督・検査を実施することで、公共工事の品質を確保する必要があります。

一方、わが国の財政状況は極めて厳しい状況にあり、公共工事もより効果的・効率的な事業執 行が求められています。公共事業を今後さらに効率化するには、民間の持つ技術力を積極的に活 用することが重要となってきています。

このような背景の中、平成 17 年 4 月に「公共工事の品質確保の促進に関する法律」(以下、「品確法」という。)が施行されました。品確法では、公共工事の品質は、「経済性に配慮しつつ価格以外の多様な要素をも考慮し、価格及び品質が総合的に優れた内容の契約がなされることにより、確保されなければならない」と規定しており、公共工事の品質確保のための主要な取り組みとして総合評価方式の適用を掲げています。

公共工事の品質確保を図るためには、必要な技術的能力を有する者が施工を行う必要があります。発注者は競争参加者の技術的能力の審査を適切に行うとともに、品質の向上に係る技術提案 を求めるなど、受注者サイドの知恵や工夫の活用にも努めます。

総合評価方式では、これらを得点化し、落札者の決定においては、価格に加えて技術提案等の 優劣を総合的に評価することにより、最も評価の高い者を落札者とすることが原則となります。

「九州地方整備局(港湾空港関係)工事の総合評価落札方式の評価項目と配点の考え方」は、 九州地方整備局(港湾空港関係)における総合評価落札方式適用工事を対象として、その総合評価方式の概要と評価項目の設定及び配点等についての現段階での考え方を示し、総合評価落札方式の競争性・透明性・公平性の向上を図ることを目的として作成したものです。

今後、競争参加者等のご意見を伺いながら本資料の改善を行い、より良い総合評価方式の構築 を目指してまいります。

目 次

1	. 総台	↑評価万式の概要	1
	1-1.	総合評価方式の概要	1
		九州地方整備局の入札契約方式と総合評価方式のタイプ	
	1-2	- 1. 入札契約方式	2
	1-2	- 2. 技術提案評価型(S 型) [WTO 型含む]	2
	1-2	- 3. 施工能力評価型(I型)	2
	1-2	- 4. 施工能力評価型(Ⅱ型)	2
	1-3.	総合評価方式のフロー	3
	1-4.	九州地方整備局の総合評価方式の実施方針	3
	4 =	<i>Μ</i> Λ=τ- τ-	4
	1-5.	総合評価方式のタイプ選定及び加算点満点の設定	4
	1 0	多様な入札方式の検討について	
		- 1. 一括審査方式	
	1-6		
	1-6		
	1-6		
	1-6		
	1-6		
	1-6	- 7. 主任(監理)技術者等未経験者育成型(工事)について	6
	1-6	- 8. 施工能力評価型(地域貢献重視型)の試行について	6
	1-6	- 9. 技術提案評価型(S 型)地元作業船活用評価型の試行について	6
_			_
		「項目の設定及び配点	
	2-1.	総合評価方式のタイプ毎の評価項目	7
		技術提案評価型(S型) [WTO 型含む] の評価項目と配点	
		- 1. 技術提案の評価方法	
	2-2	- 2 . 企業評価等	14
		施工能力評価型(I型・Ⅱ型)の評価項目と配点	
		- 1. 施工計画の評価方法	
	2-3	- 2. 企業評価等	22
	2-3	- 3. 地域貢献等	22
	2-4.	加算点の減点項目について	23
	2-4	- 1. 減点の対象	23
	2-4	- 2. 減点項目の措置内容の申請について	23
	2-5.	技術提案等の評価結果の通知について	24
	2-5		24
	2-5	- 2. 施工能力評価型(I型) [施工計画重視型] の通知について	
		-3. 施工能力評価型(I型)[標準型]の通知について	
		The second form the second sec	
	2-6.	提出資料に不足があった場合の措置について	25

	2-7.	技術	淅提案等又は評価項目不履行時のペナルティ	25
	2-7-	٠1.	請負工事成績評定の減点	25
	2-7-	2.		
			1—15	
3	. 施工	体制	 確認型	27
			エ体制確認型の適用工事	
			,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	
	3-2.	施工	工体制評価点	27
	3-3.	施工	エ体制確認型の審査・評価	28
	別紙-	1	評価しない技術提案(オーバースペックを含む)	90
	,,,,,,,,	_		
	別紙-			
			「配置予定技術者(技術指導者)等の能力」に関する評価基準	
	別紙-	- 4	「地域貢献等」に関する評価基準	54
	参考資	子料 1	1 競争参加資格確認通知書(技術提案評価型(S型) [WTO 型含む])	59
	参考資			
	参考資			_
	参考資			
	参考資			

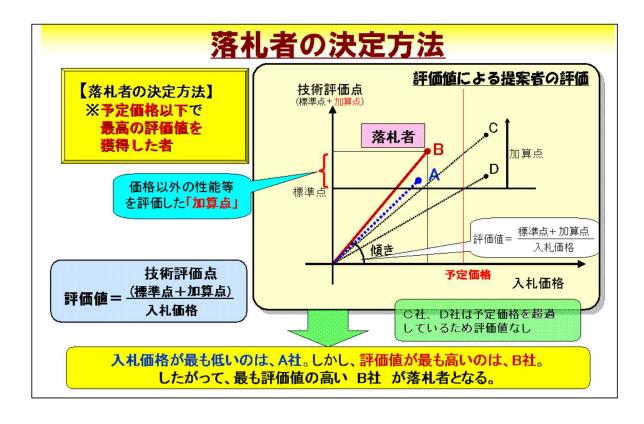
1. 総合評価方式の概要

1-1. 総合評価方式の概要

「総合評価方式」は、価格と品質を数値化した「評価値」の最も高いものを落札者とすることにより、「価格」と「品質」が総合的に優れた施工者を選定する方式である。



九州地方整備局における評価値は、下図のように技術評価点(標準点+加算点)を入札価格で除することにより算出する。(除算方式)



1-2. 九州地方整備局の入札契約方式と総合評価方式のタイプ

1-2-1. 入札契約方式

九州地方整備局では、原則、予定価格 2.5 千万円以上の工事において、一般競争入札方式を適用する。 また、予定価格が 1 千万円以上の工事において、施工体制確認型総合評価落札方式を適用する。



※1,000万円を超える工事は、「施工体制確認型総合評価落札方式」を適用。

1-2-2. 技術提案評価型 (S型) [WTO 型含む]

技術提案評価型 (S型) は、複数の課題あるいは、技術的な工夫の余地が大きい工事において、施工能力等 (企業の施工実績、配置予定技術者(技術指導者)等の能力) と共に、特定の課題の技術提案を求めることにより、 さらなる工事の品質向上を期待するものである。

なお、政府調達(WTO)対象工事は、協定に基づき施工能力等を評価項目としない。

1-2-3. 施工能力評価型 (I型)

施工能力評価型 (I型) [施工計画重視型] は、技術的な工夫の余地が小さいが、比較的難易度の高い工事において施工能力等 (企業の施工実績、配置予定技術者(技術指導者)等の能力) や地域貢献等と共に、施工計画 (施工上の課題に対する技術的所見) について記述を求め、適切かつ確実に施工上の性能等が確保できるかを確認するものである。

また、施工能力評価型 (I型) [標準型] は、施工計画 (施工上の配慮事項に対する施工手順、工法等) について記述を求め、適切で確実な施工を行う能力を有しているかを確認するものである。

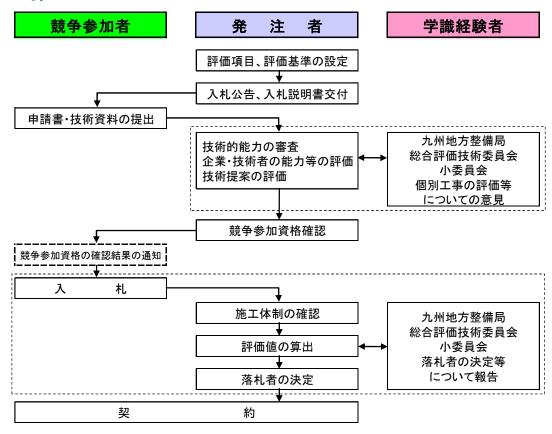
1-2-4. 施工能力評価型(Ⅱ型)

施工能力評価型 (II型) は、技術的な工夫の余地が小さく、難易度の低い工事において施工能力等(企業の施工実績、配置予定技術者(技術指導者)等の能力)や地域貢献等の実績を求め、適切で確実な施工を行う能力を有しているかを確認するものである。

1-3. 総合評価方式のフロー

総合評価方式の標準的な実施手順は下記のとおりである。

総合評価方式を適用する全工事について、競争参加者から提出された技術資料等の中立かつ公正な審査・評価の確保を図るため、「九州地方整備局総合評価技術委員会小委員会」において、学識経験者から意見を聴くこととしている。



1-4. 九州地方整備局の総合評価方式の実施方針

総合評価方式の実施方針

- ○技術的難易度が高い工事ほど、加算点満点を高く設定する。
- ○総合評価は、原則として、難易度により「施工能力評価型(I型)」、「施工能力評価型(I型)」、「技術提案評価型(S型)」を選定する。 なお、8.1億円以上はWTO対象工事とする。
- 〇予定価格が1千万円を超える全ての工事に原則として「施工体制確認型総合評価落札 方式」を適用する。



「総合評価方式のタイプ選定及び加算点満点の設定」

「施工体制確認型」

「施工体制確認型」以外

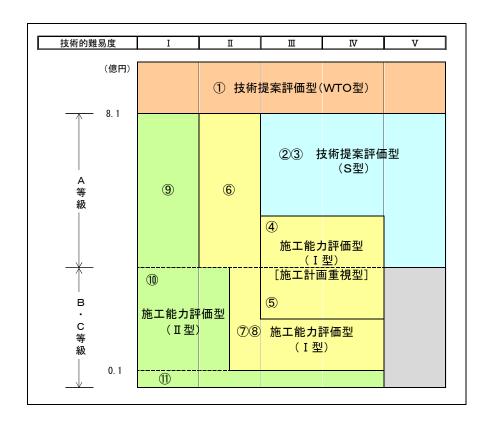
- ○技術提案評価型(WTO型)は<u>65. 0点</u>
- 〇技術提案評価型(S型)は54.0点
- 〇施工能力評価型(I 型)は44. 0点又は43. 5点
- ○施工能力評価型(Ⅱ型)は44.0点又は43.5点

○施工能力評価型(Ⅱ型)は32.5点

1-5. 総合評価方式のタイプ選定及び加算点満点の設定

総合評価方式のタイプ選定及び加算点満点の設定は、工事規模や難易度(表 1)により、 図 1 のように設定する。

図ー 1 総合評価落札方式のタイプ選定及び加算点満点の設定



					配点	内訳		
NO	総合評価タイプ	配点	技術提案	企業の 施工能力	配置予定 技術者等 の能力	地域貢献等	賃上げの実施	WLB等の推進
施工	体制確認型							
1	技術提案評価型 (WTO型)	65.0点	60点 2~3テーマ 2提案	ı	_	-	4点	1点
2	技術提案評価型 (S型)	54.0点	30点 1テーマ 2提案	10点	10点	-	3点	1点
3	技術提案評価型 (S型) チャレンジ型	54. 0点	46点 1テーマ 2提案	2点	2点	-	3点	1点
4	施工能力評価型 (I型) 施工計画重視型 A等級向け	44.0点	20点 1テーマ 2提案	10点	10点	_	3点	1点
⑤	施工能力評価型 (I型) 施工計画重視型 B・C等級向け	43.5点	20点 1テーマ 2提案	8点	8点	4点	3点	0.5点
6	施工能力評価型 (I型) A等級向け	44.0点	簡易な施工計画 可・不可で評価	20点	20点	_	3点	1点
7	施工能力評価型 (I型) B・C等級向け	43.5点	簡易な施工計画 可・不可で評価	18点	18点	4点	3点	0.5点
8	施工能力評価型 (I 型) チャレンジ型	43.5点	32点 1テーマ 3提案	2点	2点	4点	3点	0.5点
9	施工能力評価型 (Ⅱ型) A等級向け	44.0点	-	20点	20点	-	3点	1点
10	施工能力評価型 (II型) B・C等級向け	43. 5点	_	18点	18点	4点	3点	0.5点
施工	体制確認型以外							
111	施工能力評価型 (II型) 施工体制確認型以外	32. 5点	-	12点	12点	6点	2点	0.5点

表一 1 工事区分別の技術的難易度表

事業	工事区分	低い		工事類	推易度		高い
区分	(構造形式・工法分類)	I	п	Ш	IV	v	VI
	ブロック類製作工事	易	やや難	難			
	浚渫揚土工事、 防波堤工事(ブロック式)、 岸壁工事(杭式桟橋を除く)、 地盤改良工事、 捨石基礎工事、 ケーソン製作工事		易	やや難	難		
	防波堤工事(ケーソン式)、 岸壁工事(杭式桟橋)			易	やや難	難	
	沈埋トンネル工事				易	やや難	難
港 湾 •	養浜・覆砂	易	やや難	難			
港湾・港湾海岸	流路工事	易	やや難	難			
	橋梁上部工、橋梁下部工、 道路共同溝 (推進工法、開削工法)、 電線共同溝(道路)		易	やや難	難		
	道路トンネル (シールド工法、開削工法)、 道路共同溝(シールド工法)			易	やや難	難	
	道路舗装、道路付属施設、 カルバートエ(道路)、 擁壁エ(道路)、道路排水エ	易	やや難	難			
	堰・水門		易	やや難	難		
	公園	易	やや難	難			
空港	空港土工事、 排水工事(カルバート含む)	易	やや難	難			
	空港舗装工事、 地盤改良工事		易	やや難	難		

1-6. 多様な入札方式の検討について

1-6-1. 一括審査方式

・企業の技術力審査・評価の効率化を図るため、条件を満たす 2 件以上の工事において、提出された技術資料(技術提案等)の内容を同一のものとすることができる試行工事。

1-6-2. 詳細設計付き工事

・構造物の構造型式や主要諸元、構造一般図等を確定した上で、施工のために必要な仮設をはじめ詳細な設計を施工と一括で発注することにより、製作・施工者のノウハウを活用する詳細設計付き工事の試行。

1-6-3. 地元企業受注機会確保型の試行

・発注規模が5億円以上(WTO 除く)の工事において、地元企業の受注機会の増加を目的として、特定 JV 構成員に 地元企業が参加可能な試行工事。

1-6-4. WLB (ワークライフバランス) を考慮した総合評価落札方式

・仕事と生活の調和推進のための行動指針(内閣府 改正:平成28年3月)に基づき、WLBを考慮した総合評価落札方式である。

1-6-5. 総合評価落札方式を活用した I C T 活用工事の試行

・ICT活用工事は、国土交通省が提唱する i-Construction に基づき、ICTの全面的活用を図るため、基礎工、 ブロック据付工、空港工事を対象とした総合評価落札方式である。

1-6-6. 地元企業活用審査型総合評価落札方式の試行

・地域に精通した地元企業が下請に入ることで、地元企業の健全な育成及び地域の活性化を期待することを目的に、 1次下請における地元企業を評価する『地元企業活用審査型総合評価落札方式』の試行。

1-6-7. 主任(監理)技術者未経験者育成型(工事)について

・主任(監理)技術者や現場代理人として経験を有さない技術者の育成機会の創出のため、年齢要件の撤廃など、 若手技術者登用促進型(工事)の実施内容を改正し、主任(監理)技術者等未経験者育成型(工事)として、取 り組む。

1-6-8. 施工能力評価型(地域貢献重視型)の試行について

・安全・安心の担い手を将来に亘り確保することを目的として、地域貢献等の評価に加算点を重点配分する「チャレンジ型(地域貢献重視型)」を施工能力評価型 I 型で試行。

1-6-9. 技術提案評価型 (S型) 地元作業船活用評価型の試行について

・作業船の保有・維持を促進するため、地域の安全・安心を担う地元企業が所有する船舶を当該工事に使用する場合に評価する「地元作業船活用評価型」を技術提案評価型 S 型で試行。

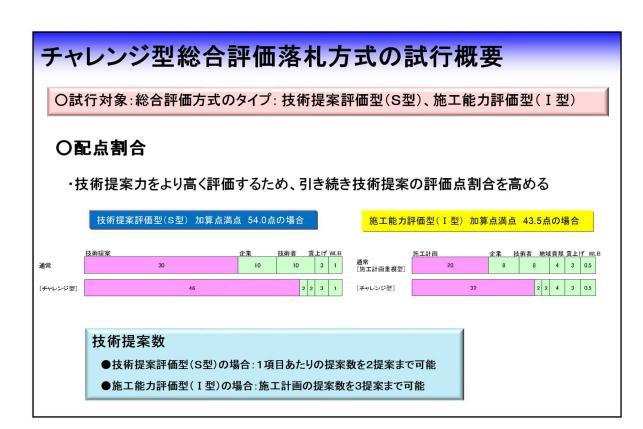
2. 評価項目の設定及び配点

2-1. 総合評価方式のタイプ毎の評価項目

表一 2に準じて、総合評価方式のタイプ【技術提案評価型(S型) [WTO型含む] 、施工能力評価型(I型・II型)】により、評価項目を設定する。

※チャレンジ型総合評価落札方式

競争参加者の技術提案力又は施工計画力をより高く評価することによって、技術力のある者が参加・競争(チャレンジ)できる環境を整えて、受注実績の少ない企業も含め、より多くの企業の参入を促しつつ、価格と技術力に最も優れた者を選び、公共工事の品質確保、向上を図ることを目的として、チャレンジ型総合評価落札方式を試行する。



表ー 2 総合評価落札方式のタイプ毎の評価項目

			胡	拖工能力評価型 (Ⅱ	型)		ħ	施工能力評価型(I	型)		技術提案評		項目 〇選択項目 技術授業評価型 (WTO型)
評価の		評価項目	施工体制確認型以外	B・C等級向け	A等級向け	B・C等級向け	A等級向け	B・C等級向け	画重視型 A等級向け	チャレンジ型	加算点 54.0点	チャレンジ型	
視点			加算点 32.5点	加算点 43.5点 作業船使用の有無 あり なし	加算点 44.0点 作業船使用の有無 あり なし	加算点 43.5点 作業船使用の有額 あり なし	無作業船使用の有無	加算点 43.5点 作業船使用の有無 あり なし	加算点 44.0点 作業船使用の有無 あり なし	加算点 43.5点 E	作業船使用の有無 あり なし	加算点 54.0点	加算点 65.0点
計施画工	施工上配處	すべき事項					0						
画工		題に対する技術的所見							©	0			
ラ財技イ務術	工事目的物の 性能、機能に 関する事項	性能・機能									事	事内	事内
ン省提にと案よの		環境の維持									内	容に	容に
る包 〜括	社会的要	交通の確保 特別な安全対策									容 に よ り	以よ 上り ◎ を 1	\$ ⊌ 0 2
) 括協議及び標準ガ	事項	省資源対策又はリサイクル対策									9 7 1 項 目	選項 択目	項目
標準		生産性向上									目 を 選	又 は 2	以 上 を
ガイ	総合的なコスト に関する事項	ライフサイクルコスト									択	項目	選択
	工事実	績(同種性)		0				0		/	⊚	/	I
	工事成:	績		0				0	1 /	0			
	須表彰実績	t		0				©			©		
	使用作 能達成	業船の保有形態及び環境性 状況									0 /		
		械等の自社保有状況			/ 0	/ 0		0	/ 0	0	10	0	
	ISO認証	E取得状況	/	0 0	0 0	0 0	0 0	0	0 0	0	0 0	0	
3		労働安全衛生マネジメントシス D認証取得状況	/	0 0	0 0	0 0	0 0	0	0 0	0	0 0	0	
企業の		DGsパートナー登録企業		0 0	0 0	0 0	0 0	0	0 0	0	0 0	0	
施工	担い手	育成活動への取組	/	0 0	0 0	0 0	0 0	0	0 0	0	0 0	0	
能力	オ プ エ事の	手持ち状況	/	0 項 0 項	項 項	〇頃〇間	項 項 項	0 項目	項項項	O 項	項項項	項	
	ショ若手技	術者等の雇用・育成	/	日を選択	/ を / を	0 選 0 達	日 を選 選		日を選出	○ 選	日を選	日を選	
	新技術	の活用		0 択 0		0 10 1	根の根の	护	护力护	択	選択	選択	
	関連分	野の技術開発実績			0 0		0 0		0 0		0 0	0	
	技術ア	・バイザー体制		π	0 0		0 0		0 0		0 0	0	
	建設現:	場におけるカーボンニュートラル		H H	0 0	H H	0 0		0 0		0 0	0	/
		動に関する国際的な枠組みへ	/	H H	0 0	H H	0 0		0 0		0 0	0	/
		績(同種性·立場)	/	<u> </u>				 ⊚			0		/
	必工事成										0		/
④ 配 置	表彰実	積									©		/
配置予定技術	建設系	の継続教育(CPD)の実施状		10 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0	0 0	0	/
技術	配置予:	定技術者(技術指導者)の資	/		0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0	0 0	0	/
者	配置予	定現場従事者の表彰	/	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0	0 0	0	
術指導	<i>*</i>	定現場従事者の資格		0 項 0 項	2 2	0項0項		1 1 1	1 1 項	O 項	○ 項 ○ 項目	1 項	
導者)	<u>シ</u>	定現場従事者の年齢		を を	を を	を を	: を を	を を	を を	日 を	を を	^E	
等の		種の施工実績		〇 選 〇 選 択 〇 択	② 選 ② 選 択 ○	②選○選例	選	選り選択	○ 選 ○ 選 択 ○ N	0 選択	○選○選択	- 選択	
能力		術者の配置		0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0	0 0	0	
	l	定技術者(技術指導者)の地		HH	0 0		0 0	HH	0 0		0 0		/
	24	度 定等に基づく活動実績		<u> </u>	/	<i>V</i>	,	V I V I	/	0	1 1-1		/
	2月	域内の工事実績	0	0 0	1 /	0 0	1 /	0 0	/				
(5)	エ事の	確実かつ円滑な実施体制とし	0	0 0		0 0		0 0	/	0			
⑤ 地 域	オプ災害活	動に対する表彰・感謝状	2 項	0項0項		0項0項	i /			O 項			
域貢献等	ショ災害時	に活用できる作業船の自社(共	目 を	日を選の選	1 /	日 を の 達	11 /	○ 項目を選 ○ 選目を選	/	目 を			
*7	ン 同)保有	状況 な技術者保有に基づく信頼度	選択	規 規 択		択りが		択り択り		選択			
	l	な営業に基づく信頼度	0	0 0		0 0		0 0		0			
⑥實 F I +	の実施に関		<u> </u>	 	V		V	©	V		-	<u> </u>	/ ⊚
		ンス等を推進する企業の評価				●●					0		
		行為に対する評価											
9施工体	施工体制に	関する評価		1	<u> </u>	0					© ©		·
制評価	(ヒアリングき	rt)			V			0			(9	S

2-2. 技術提案評価型 (S型) [WTO 型含む] の評価項目と配点

表一3に準じて、工事内容や現場状況等により評価項目を設定する。 なお、政府調達(WTO)対象工事「技術提案評価型(WTO型)」の評価項目は技術提案のみとする。

表-3 技術提案評価型 (S型) [WTO 型含む] の評価項目と配点

						技術提	是案評価型	!(S型)		技術評価	提案 画型 O型)
評価 の 視点			評価項目	評価 段階		算点 54.0 用の有無 なし		[チャレ 加算点			(65.0点
競技	工事を関する	目的物の性能、機能に	性能・機能		80-7	1 40					
(射務省との包括協議及び標準ガイドラインによる)① 技術 提案	120 7 6	V + **	環境の維持								
岳 紫 議			交通の確保					難易度			
及び標準	社会的	的要請に関する事項	特別な安全対策	25段階	1 I j	頁目	30点	IV, V	46点	2項目 以上	60点
ガイドニ			省資源対策又はリサイクル対策					2項目 以上		22	
インに			生産性向上								
\$ 0	総合的	的なコストに関する事項	ライフサイクルコスト								
		工事実績(同種性)		2段階	1.5点	3点		/			1
		工事成績		12段階	3点	4点		/			/
	必	表彰実績		4段階	1点	1点	-				
	須	使用作業船の保有形態	8及び環境性能達成状況 ※	(保有形態) 比率 (新造) 比率 (環境性能) 比率	2.5点						
2		施工機械等の自社保有	7状況	2段階]					
企業の		ISOの認証取得状況		3段階	2	2 点		2 点			
施工		建設業労働安全衛生マ	マネジメントシステム等の認証取得状況	2段階	点 ×	1 ×	10点	x 1	2点		/
能力	オプション	みなとSDGsパートナー登録	录企業	2段階	1 項	項目		項目		/	1
		担い手育成活動への取	2組	2段階	目					/	
		工事の手持ち状況		3段階	/	1 /	1				
		若手技術者等の雇用・	育成	3段階		/					
		新技術の活用		2段階	/	<u>/</u>					
		関連分野の技術開発実	2 積	3段階	2	2 点 ×		2			
		技術アドバイザ-体制		3段階	点 ×			点 ×			
		建設現場におけるカーホ	ジンニュートラルの推進	2段階	1 . 項	1 項		1 項		/	
		気候変動に関する国際	的な枠組みへの取組	2段階	目	目		目			
		工事実績(同種性・立場	3)	3段階	3点	3点		/			/
3	必須	工事成績		12段階	4点	4点					
配置		表彰実績		3段階	1点	1点					/
予定は		建設系の継続教育(CP	D)の実施状況	2段階							
技術者		配置予定技術者(技術	指導者)の資格	3段階							
白(技		配置予定現場従事者の)表彰	3段階			10点	2	2点		
術指	オプ	配置予定現場従事者の)資格	3段階	2 点	2	, 5 m	点 ×	- AR	/	/
導者)等	ノション	配置予定現場従事者の	9年齡	(潜水士等) 3段階 (作業船団) 2段階	× 1 項 目	× 1 項 目		1 項 目			
の能		指定工種の施工実績		3段階							
カ		若手技術者の配置		3段階							
		配置予定技術者(技術	指導者)の地域精通度	3段階							
賃上に	がの実	施に関する評価		2段階		3点		3,	评	4	点
ワーク	・ライ	フ・バランス等を推進する	企業の評価	2段階		1.0点		1.0	点	1.0	0点
事故及	なび不	誠実な行為に対する評価	15	2段階	-10	0% 又は	-5%	-10% X	(は −5%		
			最 大 加 算 点			54.0点		54.	0点	65.	0点

※技術提案型(S型) ICT 活用工事(施工者希望型)の評価項目と配点

西					技術提案評価型(S型) ICT活用工事(施工者希望型			
点			評価項目	評価 段階	加算点 54.0点			
					作業船使用の有無 なし			
D :		目的物の性能、機能に る事項	性能・機能		74.0			
桁 是			環境の維持					
K			交通の確保					
,	社会的	的要請に関する事項		25段階	1項目	30点		
			省資源対策又はリサイクル対策					
支								
			生産性向上					
i	総合印	的なコストに関する事項	ライフサイクルコスト		_			
		工事実績(同種性)		2段階	3点			
		工事成績		12段階	3点			
	84	表彰実績		4段階	1点			
	必須			(保有形態) 比率				
		使用作業船の保有形態	態及び環境性能達成状況 ※	(新造)				
				(環境性能)				
		ICT活用工事	2段階	1点				
,		施工機械等の自社保存	5.44.12.	2段階	1.75			
:	オプシ		11/ <i>/</i> //		2			
)		ISOの認証取得状況	マネジメントシステム等の認証取得状況	3段階	点 ×	10点		
		建設未労働女主衛生、 みなとSDGsハートナー登録		2段階	1 項			
					目			
		担い手育成活動への耳	双組	2段階				
		工事の手持ち状況		3段階				
	ョン	若手技術者等の雇用・	育成 ————————————————————————————————————	3段階				
		新技術の活用	2段階					
		関連分野の技術開発等	ミ績	3段階	2			
		技術アドバイザー体制		3段階	点 ×			
		建設現場におけるカーカ	ボンニュートラルの推進	2段階	1項			
		気候変動に関する国際	的な枠組みへの取組	2段階	目			
		工事実績(同種性・立場	易)	3段階	3点			
	必須	工事成績		2段階	4点			
		表彰実績		2段階	1点			
		建設系の継続教育(CF	PD)の実施状況	2段階				
		配置予定技術者(技術	指導者)の資格	3段階				
		配置予定現場従事者の	D表彰	3段階				
	オ	配置予定現場従事者の)資格	3段階	2	10点		
	プション	配置予定現場従事者の	0年齢	(潜水士等) 3段階 (作業船団)	点 × 1 項 目			
,	-	お ウェほの サ・ウ は		2段階	П			
		指定工種の施工実績	3段階					
		若手技術者の配置 配置予定技術者(技術						
- 14	の宝	配直ア正技術者(技術 施に関する評価	Jロ♥〒1/ソ地外代理技	3段階	2	<u></u>		
			5.企業の評価					
		フ・バランス等を推進する 誠実な行為に対する評(2段階 2段階)点 		
	111		=		.0,0 🗡			

2-2-1. 技術提案の評価方法

技術提案は、工事内容により評価テーマを設定し、評価テーマ毎に 2 提案を求め、図ー 2 に基づいて評価を行う。

なお、1評価テーマあたり2提案を超える提案については評価の対象としない。

また、1 評価テーマあたり図表を含めて 2 ページまでの記載とし、2 ページを超えて記載された部分については、評価の対象としない。

さらに、技術提案の補足事項等を別資料として提出することは、不可とする。

なお、別紙-1に示す技術提案については、評価の対象としない。

また、当局が求める技術提案の趣旨を逸脱した提案についても、評価の対象としない。なお、過剰な提案及び汎用性のない提案については高く評価しない。

<u>評価テーマ①に対し、2つの技術提案①②まで記載</u>でき、また、<u>1つの技術提案①に対し、2つの工夫①②まで記載</u>できるものとする。なお、それぞれの工夫については、<u>番号(①、②)及び下線で示す</u>こと。番号及び下線が無い場合は、評価しない場合がある。

(評価の考え方)

- ① 「2つの工夫」は、関連性があるもののみ評価の対象とする。なお、関連性がないと判断した場合は、工夫 ①のみ評価の対象とする。
- ② 1つの工夫には、1つの提案を記載すること。1つの工夫に複数の提案を記載した(と判断した)場合は、評価しない場合がある。

(1つの工夫に複数の提案を記載した場合の事例)

- 「○○システム」と「△△システム(自社開発)」を組み合わせた①「□□システム」を使用・・・
- ・ ①「OO装置」を使用・・・。「OO装置」は、「△△装置」と「□□機械」で構成され・・・
- ③ 自社開発のシステム等については、<u>カタログ、説明書など製品の概要(性能、機能、効果)がわかるものを</u>必ず添付すること。(インターネットで製品を検索できるものは除く(NETIS 等))

評価	技術提案	工夫①	・1つの評価テーマに対し、2つの技術提案まで記載可。
テーマ	1	工夫②	・1つの技術提案に対し、2つの工夫まで記載可。
) — (技術提案	工夫①	・工夫①と工夫②は、関連性があるもののみ評価する。
	2	工夫②	なお、関連性がないと判断した場合は、工夫①のみを評価。

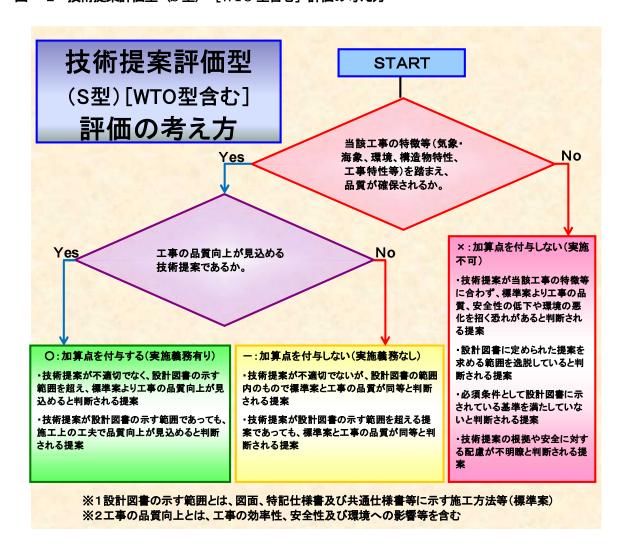
ICT活用工事の場合は、以下の例の考え方で評価を行う。

例) I C T 活用施工に掛かる技術については、当該工事では総合評価落札方式における「技術提案」における評価の対象外とする。

但し、ICT活用施工に掛かる技術を応用(別の技術を組み合わせて効果を高める、または別の効果を発現する等を含む)した技術提案については、その応用部分(付加的な内容)についてのみ評価対象とする。

◎記載された工夫は、履行義務が発生することに留意すること。また、提案書に記載の NETIS 技術についても 新技術活用計画書、実施報告書、活用効果調査票の提出 等の履行義務が発生することに留意すること。

図-2 技術提案評価型 (S型) [WTO 型含む] 評価の考え方



- 1) 以下に示す様な提案項目については、契約後の協議等により確認すべきものである事から、評価の対象としない。
 - ①近接する他工事との調整や他機関等との協議(一般的な協議事項を除く)を要するもの
 - ②特記仕様書、図面等の契約図書の変更が伴うもの
 - ③その他、契約後の協議などにより確認を必要とするもの
- 2) 以下に示す様な提案項目については、施工不可(提案が不適切であるもの)として、評価の対象としない。
 - ①施工に対する安全性への配慮に欠けるもの
 - ②関係法令に違反するもの
 - ③工事目的物の変更が伴うもの
- ④ その他、適正な履行がなされない恐れのあるもの

技術提案評価型(S型) [WTO 型含む] における技術提案の評価は、当局が設定した課題に対し、技術提案の工夫の『有効性』の観点に加えて、工夫の『確実性』及び『具体性』の観点より評価するものとし、表 4 に示すとおり、1 工夫毎に有効性を 5 段階、確実性及び具体性を 3 段階評価し、その組み合わせによって総合的な評価を行い、最終的な評価を 25 段階で判定する。

表-4 技術提案の「評価」の判定基準

【技術提案の「有効性」、「確実性」、「具体性」の組み合わせによる最終判定及び評価点】

評価項目	特に高い	>	高い	>	やや高い	標準案に近い	標準案と同等
有効性	a	b+	b	c+	c	d	J
確実性	a		b		c		
具体性	a		b		c		

			「有効性」、「確	実性」、「具体性」	」の組み合わせ		_
	的な の判定	有効性「a」 の場合	有効性「b ⁺ 」 の場合	有効性「b」 の場合	有効性「c ⁺ 」 の場合	有効性「c」 の場合	「d」 の場合
A評価	(10.00点)	aaa					
D≅vÆ	(9.70点)	aab					
B評価	(9.70点)	aba					
O=∓/#	(0.40.E)	abb					
C評価	(9.40点)	aca					
D評価	(9.10点)	acb					
E評価	(8.80点)	aac	b ⁺ aa				
D=17./3E	(0 % 0 .E)	abc	b ⁺ ab				
F評価	(8.50点)		b ⁺ ba				
G評価	(0 00 ±)	acc	b ⁺ bb				
(日本)	(8.20点)		b ⁺ ca				
H評価	(7.90点)		b ⁺ cb				
I評価	(7.60点)		b ⁺ ac	baa			
J評価	(7.30点)		b ⁺ bc	bab			
 9#1	(7.00点)			bba			
12章 (本	(7 00 E)		b ⁺ cc	bbb			
K評価	(7.00点)			bca			
L評価	(6.70点)			bcb			
M評価	(6.40点)			bac	c ⁺ aa		
N 1=∓ /=	(0.10.E)			bbc	c ⁺ ab		
N評価	(6.10点)				c ⁺ ba		
O=T/T	(* 00 . E)			bec	c ⁺ bb		
O評価	(5.80点)				c ⁺ ca		
P評価	(5.50点)				e ⁺ cb		
Q評価	(5.20点)				c ⁺ ac	caa	
R評価	(4.90点)				c ⁺ bc	cab	
						cba	
S評価	(4.60点)				c ⁺ cc	cbb	
						cca	
T評価	(4.30点)					ccb	
U評価	(4.00点)					cac	
V評価	(3.70点)					cbc	
W評価	(3.40点)					ccc	
X評価※	(2.50点)						d
一評価	(0.00点)			標準案と工事	の品質が同等	'	

【最終判定した評価点の換算方法】 (1 評価テーマあたり)

- ・1評価テーマあたりの提案数は、2提案までとする。
- ・表ー 4 のとおり「有効性」「確実性」「具体性」の観点から、各工夫毎に 10 点満点評価する。
- ・全提案の合計得点(2提案×2工夫×10点=40点満点)を当該評価テーマの配点に応じて換算する。

(換算の方法)

技術提案の合計得点(提案①+②) 40 点 × 当該評価テーマの配点 = 換算評価点

- ※各評価テーマ毎の換算評価点は、小数点第4位止、以下切り捨てとする。
- ※評価値を算出するための合計評価点は、小数点第3位止、以下切り捨てとする。

(計算例)

評価テーマ(1)の配点が30点の場合

技術提案の合計得点 (提案①+②) 40 点 × 30 点 = 換算評価点 (1) (小数点第 4 位止)

評価テーマ (2) の配点が 20 点の場合

技術提案の合計得点 (提案①+②) 40 点 × 20 点 = 換算評価点 (2) (小数点第 4 位止)

∴換算評価点(1) +換算評価点(2) =合計評価点 (小数点第3位止)

2-2-2. 企業評価等

技術提案評価型 (S 型) [WTO 型含む] における企業の施工能力、配置予定技術者(技術指導者)等の能力の評価については、別紙- 2 及び別紙- 3 に示すとおり、あらかじめ設定した基準により評価を行う。

また、オプション項目については、工事の内容・特性等により設定する。

2-3. 施工能力評価型(Ⅰ型・Ⅱ型)の評価項目と配点

表-5に準じて、工事内容や現場状況等により評価項目を設定する。

表-5 施工能力評価型 (I型) の評価項目と配点

									妳	工能力輕	·価型(I	型)					
評価			評価							[施工	計画重	視型]		計画重		[チャレ	ンジ型]
の 視点		評価項目	段階	Dot	C等級向 算点 43. 用の有無		力 口:	等級向 算点 44. 用の有無		加	C等級向 算点 43.5 用の有無			等級向(算点 44.0		加算点	43.5点
1				あり	なし	0	あり	なし	0	あり			あり				
施工		上配慮すべき事項	2段階		可評価)	×	(可・不	可評価)	×				/				
計画	施工	上の課題に対する技術的所見 	4段階	_							主案	20点	2指		20点	3提案	32点
		工事実績(同種性)	2段階	4点	7点		4点	7点		1.5点	2点		1.5点	3点		/	
		工事成績	12段階	5点	7点		5点	7点		3点	3点		3点	4点			
	必須	表彰実績	4段階 (保有形態)	2点	2点	7	2点	2点	,	1点	1点		1点	1点			
			比率		/			/									
		使用作業船の保有形態及び環境性能達成状況	比率 (環境性能)	5点	/		5点	/		2.5点	/		2.5点			/	
			比率		/			_					_	/			
		施工機械等の自社保有状況 ISOの認証取得状況	2段階	_			_	2					_	2			
② 企 業							2 点	点 ×			2		2 点	点 ×		2	
施施		建設業労働安全衛生マネジメントシステム等の認証取得状況 みなとSDGsパートナー登録企業	2段階	2	2 点	18点	2	2項日	20点		点 ×	8点	1	1 項 P	10点	点 ×	2点
北能力		かなどSDGSハードアー登録近来 担い手育成活動への取組	2段階	点 ×	x 1		項目	B			1 項 目		項目	目		1 項 目	
,,	オ	工事の手持ち状況	3段階	1 項 目	月目		7	/	,		н		7			н	
	プショ	若手技術者等の雇用・育成	3段階														
	ン	新技術の活用	2段階				2点×2項目	2点×2項目					/				
		関連分野の技術開発実績	3段階	/	/	7				Ш			/	/			
		技術アドバイザー体制	3段階	/	/		2 点	2 点		П						/	
		建設現場におけるカーボンニュートラルの推進	2段階		/		× 2 項	× 2 項			/		2点	2点		//	
		気候変動に関する国際的な枠組みへの取組	2段階	/	/		Ê	Ê			/					/	
		工事実績(同種性·立場)	3段階	7点	7点		7点	7点		2点	2点		3点	3点		7	
	必須	工事成績	12段階	7点	7点		7点	7点	•	3点	3点		4点	4点			
③ 配		表彰実績	3段階	2点	2点		2点	2点		1点	1点		1点	1点		/	
置予定		建設系の継続教育(CPD)の実施状況	2段階														
技術		配置予定技術者(技術指導者)の資格	3段階														
者		配置予定現場従事者の表彰	3段階	2	2	40 F			aa F	2	2				40.5	2	
技術指	オ	配置予定現場従事者の資格	3段階	2 点 ×	点 ×	18点	2 点	2 点	20点	点 ×	点 ×	8点	2 点	2 点	10点	点 ×	2点
導者	プショ	配置予定現場従事者の年齢	(潜水士等) 3段階	1 項 目	1 項 目		× 2	× 2		1 項 目	1 項 目		x 1	x 1		1 項 目	
) 等 の	ン	配置アルダ物化学有が平即	作業船団) 2段階	н	H		項目	項目		н	н		項目	項目		Н	
能力		指定工種の施工実績	3段階														
		若手技術者の配置	3段階	,	,					,							
		配置予定技術者(技術指導者)の地域精通度	3段階						L.,						L		
	必須	災害協定等に基づく活動実績	5段階	2点	2点					2点	2点					2点	
		近隣地域内の工事実績	3段階													4	
地域	オ	工事の確実かつ円滑な実施体制としての拠点	2段階	2	2			/	,	2	2					2	
域貢献	プシ	災害活動に対する表彰・感謝状	2段階	点 × 1	点 × 1	4点				点 × 1	点 × 1	4点				点 × 1	4点
等	ョン	災害時に活用できる作業船の自社(共同)保有状況	2段階	· 項 目	項目		/	/		· 項 目	· 項 目		/	/		項目	
		継続的な技術者保有に基づく信頼度	3段階														
	P	継続的な営業に基づく信頼度	3段階				/						/				F
		施に関する評価	2段階		3点			3点			3点			3点		3)	
		フ・バランス等を推進する企業の評価	2段階		0.5点	_59		1.0点	_59/		0.5点	_5*	- 10	1.0点	_59′	0.5	は-5%
争议及	‹ሁ <u>ተ</u> ነ	誠実な行為に対する評価 最大加算点	2段階	-10	% 又は		-10	% 又は	-0/a	-10	% 又は 43.5点	U%	-10	% 又は	U/8	-10% X	
		取 八 川 昇 鼠			40.0点			44.U.只			+0.0点			44.0点		43.	J MK

施工能力評価型(I型) ICT 活用工事(施工者希望型)の評価項目と配点

						施工能力評ICT活用工事(
評価 の 視点		評価項目	評価 段階	B・C等 加算点 作業船使用の有無 あり	級向け 43.5点	[施工計画 B・C等 加算点 作業船使用の有無 あり	画重視型] 級向け	[チャレ]				
虺	施工」	上配慮すべき事項	2段階	3項目 (可・不可評価)	O ×							
工 計 画	施工」	上の課題に対する技術的所見	4段階			2提案	20点	3提案	32点			
		工事実績(同種性)	2段階	3点		1.5点						
		工事成績	12段階	5点		2点		/				
		表彰実績	4段階	2点		1点						
	必須	使用作業船の保有形態及び環境性能達成状況	(保有形態) 比率 (新造) 比率 (環境性能) 比率	5点		2.5点						
		ICT活用工事	2段階	1点		1点		1点				
2		施工機械等の自社保有状況	2段階									
企業		ISOの認証取得状況	3段階									
の 施 エ		建設業労働安全衛生マネジメントシステム等の認証取得状況	2段階		18点		8点	1 点	2点			
北能		みなとSDGsパートナー登録企業	2段階	2 点			8点 1点× 1項目					
カ		担い手育成活動への取組	2段階	× 1			点 × 1 項					
		工事の手持ち状況	3段階	- 項 目								
	ショ	 若手技術者等の雇用・育成	3段階									
	ン	 新技術の活用	2段階									
		関連分野の技術開発実績	3段階									
		技術アドバイザー体制	3段階									
		建設現場におけるカーボンニュートラルの推進	2段階									
		気候変動に関する国際的な枠組みへの取組	2段階									
		工事実績(同種性・立場)	3段階	7点		2点						
	必	工事成績	12段階	7点		3点						
3 ₽	浿	表彰実績	3段階	2点		1点						
置予		建設系の継続教育(CPD)の実施状況		2点								
定技		建設末の総統教育(GPD)の実施状況 配置予定技術者(技術指導者)の資格	2段階									
桁 者			3段階									
技術		配置予定現場従事者の表彰	3段階	2 点	18点	2 点	8点	2 点	2点			
指 導 者	プショ	配置予定現場従事者の資格 配置予定現場従事者の年齢	3段階 (潜水士等) 3段階	× 1 項		× 1 項		× 1 項				
) 等	ン		(作業船団) 2段階	目		目		目				
形能力		指定工種の施工実績	3段階									
"		若手技術者の配置	3段階									
		配置予定技術者(技術指導者)の地域精通度	3段階									
	必 須	災害協定等に基づく活動実績	5段階	2点		2点		2点				
		近隣地域内の工事実績	3段階									
4) 地		工事の確実かつ円滑な実施体制としての拠点	2段階	2		2		2				
域貢献	ی	災害活動に対する表彰・感謝状	2段階	点 - ×	4点	点 ×	4点	点 ×	4点			
等	ョン	災害時に活用できる作業船の自社(共同)保有状況	2段階	1 項		項		1 項				
		継続的な技術者保有に基づく信頼度	3段階	目		目		目				
		継続的な営業に基づく信頼度	3段階									
上け	の実	施に関する評価	2段階	3.	<u></u>	3)	点	3)	i.			
ーク	・ライフ	ア・バランス等を推進する企業の評価	2段階	0.5	i点	0.5	点	0.5	点			
故及	び不!	誠実な行為に対する評価	2段階	-10% X	lは −5%	-10% 又	lは −5%	-10% 又	.lは −5%			
-		最 大 加 算 点		43.	5点	43.	5点	43.5	点			

施工能力評価型(Ⅱ型)の評価項目と配点

						施	工能力評	価型(Ⅱ	型)		
評価の		評価項目	評価段階	施工体制 確認型以外 加算点 32.5点		B・C等級向け				等級向	
視点			1216			加算点 43.5点作業船使用の有無			加算点 44.0点作業船使用の有無)点
		工事実績(同種性)	2段階	5点		あり 4点	なし 7点		あり 4点	なし 7点	
		工事成績	12段階	5点		5点	7点		5点	7点	
		表彰実績	4段階	2点		2点	2点		2点	2点	
	必須		(保有形態)	/			/			/	
		使用作業船の保有形態及び環境性能達成状況	比率 (新造) 比率			5点			5点		
			(環境性能)								
		施工機械等の自社保有状況	上率 2段階							/	
1		ISOの認証取得状況	3段階				-			2	
企業		建設業労働安全衛生マネジメントシステム等の認証取得状況	2段階						2 点	点 × 2	
を施工		みなとSDGsパートナー登録企業	2段階		12点	2	2 点	18点	× 2 項	項目	20点
能力		担い手育成活動への取組	2段階			点 × 1	× 1 項		Ê		
	オプ	工事の手持ち状況	3段階			項目	Î		/	/	
	シ ョ	若手技術者等の雇用・育成	3段階								
	ン	新技術の活用	2段階						項 × 2 日 o 占	項 × 2 目 2 点	
		関連分野の技術開発実績	3段階			/	7			口之派	
		技術アドバイザー体制	3段階				/		2	2点	
		建設現場におけるカーボンニュートラルの推進	2段階						× 2 項	× 2 項	
		気候変動に関する国際的な枠組みへの取組	2段階						目	目	
	必須	工事実績(同種性・立場)	3段階	5点		7点	7点		7点	7点	
		工事成績	12段階	5点		7点	7点		7点	7点	
② 配		表彰実績	3段階	2点		2点	2点		2点	2点	
置予		建設系の継続教育(CPD)の実施状況	2段階		12点						
定技術		配置予定技術者(技術指導者)の資格	3段階						2点×2項目		
者(配置予定現場従事者の表彰	3段階			2 点× 1 項目				2 点	20点
技術指	オ	配置予定現場従事者の資格	3段階				2 点×1項目	18点			
導 者	プショ	7. 第2 中国组织主义。 5. 4.	(潜水士等) 3段階							× 2	
) 等 の	¹ ン	配置予定現場従事者の年齢	(作業船団) 2段階							項目	
能力		指定工種の施工実績	3段階								
		若手技術者の配置	3段階								
		配置予定技術者(技術指導者)の地域精通度	3段階								
	必 須	災害協定等に基づく活動実績	5段階	2点		2点	2点				/
		近隣地域内の工事実績	3段階								
③ 地		工事の確実かつ円滑な実施体制としての拠点	2段階	2		2	2				
域貢	オプシ	災害活動に対する表彰・感謝状	2段階	点 ×	6点	点 ×	点 ×	4点			
献 等	_	災害時に活用できる作業船の自社(共同)保有状況	2段階	2 項 目		1 項目	1 項 日				
	-	継続的な技術者保有に基づく信頼度	3段階	B			目				
		継続的な営業に基づく信頼度	3段階								
④賃上	①賃上げの実施に関する評価 2段階		2段階	2.	点		3点			3点	
⑤ワー	5ワーク・ライフ・バランス等を推進する企業の評価		2段階	0.5	点		0.5点		1.0点		
⑥事故	及び	不誠実な行為に対する評価	2段階	-10% X	Z(は −5%	-10	0% 又は・	-5%	-10	-10% 又は -5%	
		最 大 加 算 点		32.	5点		43.5点			44.0点	

施工能力評価型(II型) ICT 活用工事(施工者希望型)の評価項目と配点

				施工能力評 ICT活用型(旅		
評価 の 視点		評価項目	評価 段階	B・C等 加算点 作業船使用の有無 あり		
		工事実績(同種性)	2段階	3点		
		工事成績	12段階	5点		
		表彰実績	4段階	2点		
	必須	使用作業船の保有形態及び環境性能達成状況	(保有形態) 比率 (新造) 比率 (環境性能) 比率	5点		
		ICT活用工事	2段階	1点		
		施工機械等の自社保有状況	2段階			
① 企		ISOの認証取得状況	3段階			
業 の 施		建設業労働安全衛生マネジメントシステム等の認証取得状況	2段階		18点	
工 能		みなとSDGsパートナー登録企業	2段階	2		
カ		担い手育成活動への取組	2段階	点 × 1		
	オプ	工事の手持ち状況	3段階	· 項 目		
	ショ、	若手技術者等の雇用・育成	3段階			
	ン	新技術の活用	2段階			
		関連分野の技術開発実績	3段階	/		
		技術アドバイザー体制	3段階			
		建設現場におけるカーボンニュートラルの推進	2段階			
		気候変動に関する国際的な枠組みへの取組	2段階			
	必須	工事実績(同種性・立場)	3段階	7点		
		工事成績	12段階	7点		
② 配		表彰実績	3段階	2点		
置予		建設系の継続教育(CPD)の実施状況	2段階			
定 技 術		配置予定技術者(技術指導者)の資格	3段階			
者		配置予定現場従事者の表彰	3段階			
技術指	オ	配置予定現場従事者の資格	3段階	2 点 ×	18点	
導者)等	プション	配置予定現場従事者の年齢	(潜水士等) 3段階 (作業船団) 2段階	1 項 目		
の 能 力		指定工種の施工実績	3段階			
		若手技術者の配置	3段階			
		配置予定技術者(技術指導者)の地域精通度	3段階			
	必須	災害協定等に基づく活動実績	5段階	2点		
		近隣地域内の工事実績	3段階			
③ 地		工事の確実かつ円滑な実施体制としての拠点	2段階	0		
域 貢	オプシ	災害活動に対する表彰・感謝状	2段階	· 2 点 ×	4点	
献等	ション	災害時に活用できる作業船の自社(共同)保有状況	2段階	1 項		
	_	継続的な技術者保有に基づく信頼度	3段階	目		
	継続的な営業に基づく信頼度 3段		3段階			
賃上け	貴上げの実施に関する評価 2段階				点	
ワーク	フーク・ライフ・パランス等を推進する企業の評価 2段階				i点	
事故及	なび不	誠実な行為に対する評価	2段階	-10% 又は -5%		
	最大加算点				5点	

2-3-1. 施工計画の評価方法

(1) 施工能力評価型(I型) 「施工計画重視型]

施工計画の評価は、施工上の課題に対する技術的所見を施工計画重視型:2 提案、チャレンジ型:3 提案求め、図-3に基づいて評価を行い、

表一6に示すとおり、1提案毎に4段階で評価する。

なお、2 提案を超える提案(チャレンジ型の場合、3 提案を超える提案)については評価の対象としない。また、図表を含めて 1 ページまでの記載とし、2 ページを超えて記載された部分については、評価の対象としない。

さらに、施工計画の補足事項等を別資料として提出することは、不可とする。

なお、別紙-1に示す提案については、評価の対象としない。

また、当局が求める技術的所見の趣旨を逸脱した提案についても、評価の対象としない。なお、過剰な提案及び汎用性のない提案については高く評価しない。

施工計画(技術的所見)に対し、2つの提案①②まで記載でき、また、1つの提案①に対し、2つの工夫①② まで記載できるものとする。なお、それぞれの工夫については、番号(①、②)及び下線で示すこと。番号及び下 線が無い場合は、評価しない場合がある。

(評価の考え方)

- ① <u>「2つの工夫」は、関連性があるもののみ評価</u>の対象とする。なお、関連性がないと判断した場合は、工夫 ①のみを評価の対象とする。
 - ② <u>1つの工夫には、1つの提案を記載</u>すること。<u>1つの工夫に複数の提案を記載した(と判断した)場合は、</u> 評価しない場合がある。

(1つの工夫に複数の提案を記載した場合の事例)

- 「○○システム」と「△△システム(自社開発)」を組み合わせた①「□□システム」を使用・・・
- ・ ①「OO装置」を使用・・・。「OO装置」は、「△△装置」と「□□機械」で構成され・・・
- ③ 自社開発のシステム等については、<u>カタログ、説明書など製品の概要(性能、機能、効果)がわかるものを</u> <u>必ず添付</u>すること。(インターネットで製品を検索できるものは除く(NETIS 等))

	提案	工夫①	・施工計画(技術的所見)に対し、2つの提案まで記載可。
 施工計画(技術的所見)	① (技術的所見)	工夫②	・1つの提案に対し、2つの工夫まで記載可。
旭上計画(技術四別形元)	提案	工夫①	・工夫①と工夫②は、関連性があるもののみ評価する。
	2	工夫②	なお、関連性がないと判断した場合は、工夫①のみを評価。

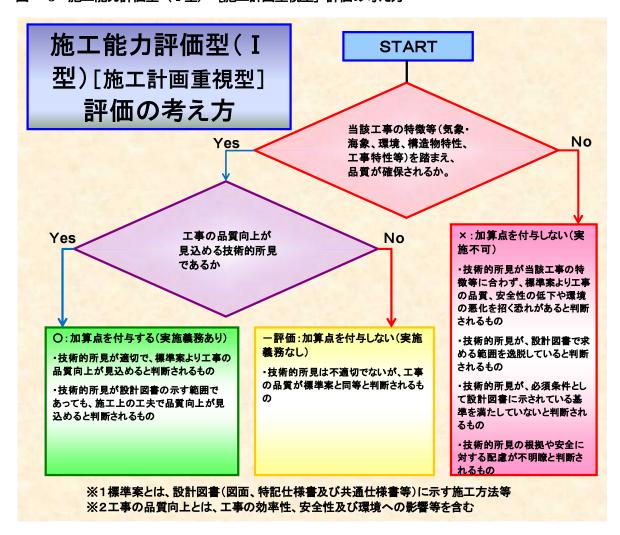
ICT活用工事の場合は、以下の例の考え方で評価を行う。

例) I C T 活用施工に掛かる技術については、当該工事では総合評価落札方式における「施工計画」における評価の対象外とする。

但し、ICT活用施工に掛かる技術を応用(別の技術を組み合わせて効果を高める、または別の効果を発現する等を含む)した技術提案については、その応用部分(付加的な内容)についてのみ評価対象とする。

<u>◎記載された工夫は、履行義務が発生することに留意すること。また、提案書に記載のNETIS 技術についても</u>新技術活用計画書、実施報告書、活用効果調査票の提出 等の履行義務が発生することに留意すること。

図-3 施工能力評価型(I型) [施工計画重視型] 評価の考え方



- 1) 以下に示す様な施工計画については、契約後の協議等により確認すべきものである事から、評価の対象としない。
 - ①近接する他工事との調整や他機関等との協議(一般的な協議事項を除く)を要するもの
 - ②特記仕様書、図面等の契約図書の変更が伴うもの
 - ③その他、契約後の協議などにより確認を必要とするもの
- 2) 以下に示す様な施工計画については、施工不可(提案が不適切であるもの)として、評価の対象としない。
 - ①施工に対する安全性への配慮に欠けるもの
 - ②関係法令に違反するもの
 - ③工事目的物の変更が伴うもの
 - ④その他、適正な履行がなされない恐れのあるもの

表-6 施工計画の評価表(1提案あたり)

		— · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
		加算点の配点	施工計画重視型(加算点 20 点)
評価			チャレンジ型 (加算点 32 点)
◎評価	:	効果の高い提案	2.0 点
〇評価	:	効果のやや高い提案	1.0 点
△評価	:	標準案よりも若干工夫されている提案	0.5 点
一評価	:	標準案と同等、又は効果のない提案	0.0 点

【最終判定した評価点の換算方法について】

最終判定により決定した全施工計画の合計得点(満点の場合は、施工計画重視型:最大2提案×2点=4点、チャ レンジ型:最大3提案×2点=6点 等)を、当該評価テーマの配点に応じて換算する。

(施工計画重視型の換算の方法)

施工計画の合計得点 (提案①+提案②) × 加算点の配点 = 換算評価点

4 点

※換算評価点は、小数点第3位止、以下切り捨てとする。

(計算例)

施工計画の合計<u>得点(提案①+提案②)</u> × 20 点 = 評価点 (小数点第 3 位止) 4 点

(チャレンジ型の換算の方法)

施工計画の合計得点 (提案①+提案②+提案③) × 加算点の配点 = 換算評価点

※換算評価点は、小数点第3位止、以下切り捨てとする。

(計算例)

施工計画の合計得点 (提案①+提案②+提案③) ×32 点 = 評価点 (小数点第3位止) 6 点

(2) 施工能力評価型(I型) [施工計画重視型] (1工夫毎に4段階で評価する評価方法(試行)) 案件によっては、1工夫毎に4段階で評価する方法を試行する場合がある。なお、本試行を実施する場合、 図ー 3に基づいて評価を行い、

表一 6に示すとおり、1工夫毎に4段階で評価する。

表-7 施工計画の評価表(1工夫あたり)

		加算点の配点	施工計画重視型(加算点 20 点)
評価			チャレンジ型 (加算点 32 点)
◎評価	:	効果の高い提案	2.0 点
〇評価	:	効果のやや高い提案	1.0 点
△評価	:	標準案よりも若干工夫されている提案	0.5 点
一評価	:	標準案と同等、又は効果のない提案	点 0.0

【最終判定した評価点の換算方法について】

最終判定により決定した全施工計画の合計得点(満点の場合は、施工計画重視型:最大2提案×2工夫×2点=8 点、チャレンジ型:最大3提案 $\times 2$ 工夫 $\times 2$ 点=12点 等)を、当該評価テーマの配点に応じて換算する。

(施工計画重視型の換算の方法)

施工計画の合計得点(提案① (工夫①+②) +提案② (工夫①+②)) × 加算点の配点 = 換算評価点

(チャレンジ型の換算の方法)

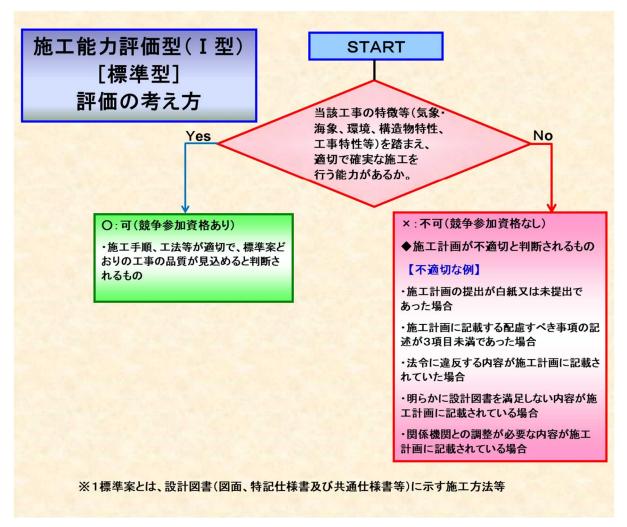
施工計画の合計得点(提案① (工夫①+②) +提案② (工夫①+②) +提案③ (工夫①+②)) × 加算点の配点 = 換算評価点

※換算評価点は、小数点第3位止、以下切り捨てとする。

(3) 施工能力評価型(I型)[標準型]

施工計画の評価は、施工上配慮すべき事項について 3 項目求め、図ー 4 に基づいて確認を行い、適切であれば「可 (競争参加資格あり)」、不適切であれば「不可 (競争参加資格なし)」とする。

図ー 4 施工能力評価型(I型) [標準型] 評価の考え方



2-3-2. 企業評価等

施工能力評価型 (I型・II型) における企業の施工能力、配置予定技術者(技術指導者)等の能力の評価については、別紙-2及び別紙-3に示すとおり、あらかじめ設定した基準により評価を行う。

また、オプション項目については、工事の内容・特性等により設定する。

2-3-3. 地域貢献等

施工能力評価型(I 型・I 型)における地域貢献等の評価については、別紙-4 に示すとおり、あらかじめ設定した基準により評価を行う。

また、オプション項目については、工事の内容・地域特性等により設定する。

※ 施工能力評価型(I型)施工計画重視型(A等級向け)及び施工能力評価型(I型)標準型(A等級向け) は対象外とする。

2-4. 加算点の減点項目について

政府調達(WTO)対象工事以外の総合評価落札方式において、事故及び不誠実な行為における、「指名停止」、「文書注意」等の措置について、総合評価の加算点合計から加算点満点の 10%または 5%を減点する。 なお、減点の結果、加算点が 0 点未満(マイナス)となった場合には、競争参加資格を与えない。

2-4-1. 減点の対象

申請書及び資料の提出期限日において、下表に該当する場合に加算点の減点を行う。

HEAD ATTOMATION OF TAILMENT OF STREET OF STREE							
措置内容	減点対象期間	加算点の減点					
九州地方整備局による「指名停止」	指名停止期間終了日 の翌日から1ヶ月間	加算点満点の 10%を減点					
九州地方整備局による「書面による警告・注意」	通知日を含む1ヶ月間	加算点満点の 5%を減点					
九州 7 県、山口県、福岡市、北九州市、佐世保 市、下関市による「指名停止」	指名停止の期間	加算点満点の 10%を減点					
九州 7 県、山口県、福岡市、北九州市、佐世保 市、下関市による「書面による警告・注意」	通知日を含む1ヶ月間	加算点満点の 5%を減点					

- ※各県の措置については、各県が自ら発注した工事に係わる措置のみ対象とし、各県発注工事に関係しない「指名停止」等の措置については、減点の対象外とする。
- ※他地整、他省庁、各市町村(福岡市、北九州市、佐世保市、下関市を除く)、地方公社、特殊法人または公営 民間企業等の措置は、減点の対象外とする。
- ※山口県の措置については、下関市内における工事を、減点の対象とする。
- ※九州 7 県、山口県が自ら発注した工事に係わる措置及び港湾管理者である福岡市、北九州市、佐世保市、下関市が自ら発注した工事に係わる措置についても、減点の対象とする。
- ※共同企業体(特定・経常 JV)の場合は、代表者又は構成員のいずれか 1 社でも該当すれば減点の対象とする。
 - 例)・公正取引委員会からの警告に伴う九州地方整備局からの文書注意
 - ・地方公共団体の粗雑工事による指名停止等
 - ・いわゆる「名ばかり営業所」等の建設業法の不誠実な行為による指名停止等

2-4-2. 減点項目の措置内容の申請について

減点項目に該当する措置を受けている者は、指定の様式に基づき自己申請により措置内容を申請する。 なお、減点項目の措置内容が申請されずに、落札後に減点項目に該当する措置を受けていることが確認された 場合は、別途、指名停止要領により措置を行う。

2-5. 技術提案等の評価結果の通知について

2-5-1. 技術提案評価型 (S型) [WTO 型含む] の通知について

技術提案評価型(S型) [WTO 型含む] においては、契約条件の明示、不履行となる技術提案の明確化を図る観点から、競争参加資格確認通知書(参考資料 1) において、1 提案毎に、「〇: 加算点を付与する(実施義務有り)」、「一: 加算点を付与しない(実施義務無し)」、「×: 加算点を付与しない(実施不可)」にて、技術提案評価結果を各入札参加者に通知する。

なお、入札時提案書(参考資料 5、参考資料 6)に記載不備がある場合は入札無効となるので、十分留意が必要である。

- ①【〇:加算点を付与する(実施義務有り)の判断】
 - i : 技術提案が不適切でなく、設計図書の示す範囲を超え、標準案より工事の品質向上が見込めると判断 される提案。
 - ii:技術提案が設計図書の示す範囲内であっても、施工上の工夫で品質向上が見込めると判断される提案。
- ②【一:加算点を付与しない(実施義務無し)の判断】
 - i:技術提案が不適切でないが、設計図書の範囲内のもので標準案と工事の品質が同等と判断される提案。
 - ii:技術提案が設計図書の示す範囲を超える提案であっても、標準案と工事の品質が同等と判断される提案。
- ③【×:加算点を付与しない(実施不可)の判断】
 - i : 技術提案が現地環境条件に合わず、標準案より工事の品質、安全性の低下や環境の悪化を招く恐れが あると判断される提案。
 - ii:設計図書に定められた提案を求める範囲を逸脱していると判断される提案。
 - iii: 必須条件として設計図書に示されている基準を満たしていないと判断される提案。
 - iv:施工計画の根拠や安全に対する配慮が不明瞭と判断される提案。

2-5-2. 施工能力評価型 (I型) [施工計画重視型] の通知について

施工能力評価型 (I型) [施工計画重視型] においては、契約条件の明示、不履行となる提案の明確化を図る 観点から、競争参加資格確認通知書(参考資料 2) において、1 提案毎に、「〇:加算点を付与する(実施義務 有り)」、「一:加算点を付与しない(実施義務無し)」、「×:加算点を付与しない(実施不可)」にて、評 価結果を各入札参加者に通知する。

- ①【O:加算点を付与する(実施義務有り)の判断】
 - i:技術的所見が不適切でなく、標準案より工事の品質向上が見込めると判断されるもの。
 - ii:技術的所見が設計図書の示す範囲内であっても、施工上の工夫で品質向上が見込めると判断されるもの。
- ②【一:加算点を付与しない(実施義務無し)の判断】
 - i : 技術的所見が不適切でないが、工事の品質が標準案と同等と判断されるもの。
- ③【×:加算点を付与しない(実施不可)の判断】
 - i : 技術的所見が現地環境条件に合わず、標準案より工事の品質、安全性の低下や環境の悪化を招く恐れがあると判断されるもの。
 - ii:技術的所見が設計図書で求める範囲を逸脱していると判断されるもの。
 - iii: 技術的所見が必須条件として設計図書に示されている基準を満たしていないと判断されるもの
 - iv:技術的所見の根拠や安全に対する配慮が不明瞭と判断されるもの。

2-5-3. 施工能力評価型 (I 型) [標準型] の通知について

施工能力評価型 (I型) [標準型] においては、施工上の配慮事項に対する施工手順や工法等が適切であるか 否かを確認し、適切であれば「可」、不適切であれば「不可(競争参加資格なし)」を各入札参加者に競争参加資 格確認通知書(参考資料 3)により通知する。

2-6. 提出資料に不足があった場合の措置について

競争参加資格確認申請書の提出時に行う当局の形式審査において、内容確認のために追加・補足資料を求める場合がある。

なお、技術提案又は施工計画に係る資料は、追加・補足資料の提出を認めない。

2-7. 技術提案等又は評価項目不履行時のペナルティ

正当な理由がなく、技術提案等又は評価項目が実施できない場合には、下記の措置を行う。

2-7-1. 請負工事成績評定の減点

①技術提案等

技術提案評価型 (S型) [WTO 型含む] 及び施工能力評価型 (I型) [施工計画重視型] において、受注者により提案された技術提案等のうち、実施義務のある提案が受注者の責により履行できなかった場合には、下表により「請負工事成績評定」の減点を行う。なお、受注者の責によらない場合とは、災害又は、その他特別な事情がある場合等のことをいい、発注者と受注者の協議により決定する。

請負工事成績評定の減点基準 技術提案評価型(S型、WTC) 型)
不履行となった提案の割合	減点数
実施義務のある技術提案のうち、40%超えが履行できなかった場合	10 点
実施義務のある技術提案のうち、20%を超え 40%以下が履行できなかった場合	5 点
実施義務のある技術提案のうち、20%以下が履行できなかった場合	3点

請負工事成績評定の減点基準 施工能力評価型 (I 型) [施工計	画重視型]
不履行となった計画の割合	減点数
実施義務のある施工計画のうち、40%越えが履行できなかった場合	10 点
実施義務のある施工計画のうち、20%を越え 40%以下が履行できなかった場合	5点
実施義務のある施工計画のうち、20%以下が履行できなかった場合	3点

②評価項目

技術提案評価型(S型)及び施工能力評価型(I型・II型)において、受注者より申請された下記の評価項目において、受注者の責により履行できなかった場合は、不履行となった評価項目毎に申請に対して付与した加算点に応じて最大5点の「請負工事成績評定」の減点を行う。

なお、受注者の責によらない場合とは、災害又は、その他特別な事情がある場合等のことをいい、発注者と受注者の協議により決定する。

請負工事成績評定の減点基準(企業の施工能力及び配置予定技術者(技術指導者)等の能力)						
不履行となった項目の加点割合(加算点満点に対する割合) 減点数						
加点割合が 50%を超える場合	5点					
加点割合が 50%以下の場合	3点					

評価項目	減点数							
企業の施工能力評価(必須項目)								
使用作業船の保有形態及び環境性能達成状況	最大 5 点							
ICT活用工事	最大 5 点							
企業の施工能力評価(オプション項目)								
担い手育成活動への取組	最大 5 点							
新技術の活用	最大 5 点							
技術アドバイザー体制	最大 5 点							
建設現場におけるカーボンニュートラルの推進	最大 5 点							
配置予定技術者(技術指導者)等の能力(オプション項目)								
配置予定現場従事者の表彰	最大 5 点							
配置予定現場従事者の資格	最大 5 点							
配置予定現場従事者の年齢	最大 5 点							
若手技術者の配置	最大 5 点							
試行工事								
1次下請における地元企業の活用率	最大 5 点							
地元作業船活用	最大 5 点							

2-7-2. 違約金の徴収

技術提案評価型 (S型) [WTO 型含む] 及び施工能力評価型 (I型) [施工計画重視型] において、受注者により提案された技術提案等のうち、実施義務のある提案が受注者の責により履行できなかった場合は、技術提案等全体の再評価を行い、当初契約時に取得した加算点との差額分に相当する額(下式参照)を違約金として徴収を行う。ただし、当初契約額の 10%を上限とする。

また、それぞれの技術提案等項目のうち、1 提案でも履行できない場合は、当該項目の加算点を 0 点とする。 なお、受注者の責によらない場合とは、災害又は、その他特別な事情がある場合等のことをいい、発注者と受 注者の協議により決定する。

【違約金算出式】

違約金=当初契約額× (1- 施工後の技術評価点/当初契約時の技術評価点)

- 注 1) 施工後の技術評価点=当初契約時の技術評価点-不履行となった提案評価項目に対して付与された加算点
- 注 2) 当初契約時の技術評価点=標準点 100 点+加算点+施工体制評価点

3. 施工体制確認型

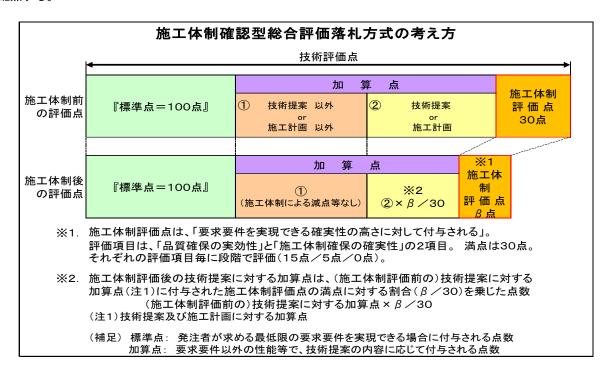
3-1. 施工体制確認型の適用工事

施工体制確認型総合評価落札方式は、「緊急公共工事品質確保対策」として実施するもので、入札説明書等に 記載された要求要件を確実に実現できるかどうかを確認するものである。

九州地方整備局においては、原則として随意契約を除く予定価格が 1 千万円を超える全ての工事に適用するものとする。

3-2. 施工体制評価点

施工体制評価点は 30 点満点とし、「品質確保の実効性」、「施工体制確保の確実性」の評価項目毎に各 15 点を配点する。



施工体制評価点の評価項目と評価基準

評価項目	評価基準	評值	西点	評価項目	評価基準	評価点	
品質	工事の品質確保のための適切な施工 体制が十分確保され、入札説明書等 に記載された要求要件をより確実に実 現できると認められる場合	15点		施工体制	工事の品質確保のための施工体制の ほか、必要な人員及び材料が確保されていることなどにより、適切な施工体 制が十分確保され、入札説明書等に 記載された要求要件をより確実に実現 できると認められる場合	15点	
確保の実効性	工事の品質確保のための適切な施工体制が概ね確保され、入札説明書等に記載された要求要件を確実に実現できると認められる場合	5点	15点	神確保の確実性	工事の品質確保のための施工体制の ほか、必要な人員及び材料が確保されていることなどにより、適切な施工体 制が概ね確保され、入札説明書等に 記載された要求要件を確実に実現で きると認められる場合	5点	15点
	その他	0点			その他	0点	

3-3. 施工体制確認型の審査・評価

どのように施工体制を構築し、それが施工内容の実現確実性の向上につながるかを審査するため、原則として、予定価格の制限の範囲内の価格で申込みをしたすべての入札参加者に対して、開札後速やかに、ヒアリングを実施する。但し、申込みに係る価格が予決令第85条に基づく調査基準価格以上で工事費内訳書に疑義がない入札参加者は、ヒアリングを省略し、施工体制評価点は満点を付与する。

申込みに係る価格が調査基準価格に満たない入札参加者に対しては、施工体制の確保を含め、契約の内容に適合した履行がされないこととなる恐れがあることから、ヒアリングのための追加資料(下表参照)の提出を求める。評価に当たっては、施工体制が確保されると認める場合にその程度に応じて施工体制評価点を加点することにより評価する。

なお、提出期限までに追加資料が提出されない場合は、ヒアリングを行わず当該業者の入札を無効とする。

使用する様	式一覧	【凡例】 ◎ 様式及び※ ○ 様式のみ払	系付資料を提出 是出
様式番号	名称	施工体制 確認型 総合評価	低入札 価格調査 (特別重点調査)
表紙(施工体制)	施工体制確認型総合評価に係るヒアリングのための追加資料の提出について	0	
表紙(特重)	低入札価格調査(特別重点調査)のための資料及び添付書類等の提出について		0
様式1	当該価格で入札した理由		0
様式2-1	積算内訳書		©
様式2-2	内訳書に対する明細書		0
様式2-3	一般管理費等の内訳書		©
様式3-1	下請予定業者等一覧表		0
様式3-2	下請予定業者等一覧表	0	
様式4	配置予定技術者名簿	0	©
様式5-1	手持ち工事の状況(対象工事現場付近)		©
様式5-2	手持ち工事の状況(対象工事関連)		©
様式6	契約対象工事箇所と入札者の事務所、倉庫等との関係	0	©
様式7-1	手持ち資材の状況		©
様式7-2	資材購入予定先一覧	0	©
様式8-1	手持ち機械の状況		0
様式8-2	機械リース元一覧	0	©
様式9-1	労務者の確保計画	0	0
様式9-2	工種別労務者配置計画	0	0
様式10-1	建設副産物の搬出地		©
様式10-2	建設副産物の搬出地	0	
様式11	建設副産物の搬出及び資材等の搬入に関する運搬計画書		©
様式12-1	品質確保体制(品質管理のための人員体制)	0	©
様式12-2	品質確保体制(品質管理計画書)	0	©
様式12-3	品質確保体制(出来形管理計画書)	0	©
様式13-1	安全衛生管理体制(安全衛生教育等)		©
様式13-2	安全衛生管理体制(点検計画)		©
様式13-3	安全衛生管理体制(仮設設置計画)		©
様式13-4	安全衛生管理体制(交通誘導員配置計画)		©
様式13-5	安全衛生管理体制(安全衛生教育、点検計画等)	0	
様式14	誓約書		©
様式15	施工体制台帳	0	©
様式16	過去に施工した同種の公共工事名及び発注者		©
様式17	VE提案等によるコスト縮減額調書	0	

番号	分類	工種区分	技術テーマ	評価しない提案内容	判定	備考
1	共通	共通	共通	就業時間の延長	オーバースペック	作業員に負担を強いる提案 は評価しない。
2	共通	共通	共通	生コン工場及びアスファルト工場からの現場搬入・荷下ろしまでのコンクリート・アスファルトの管理	標準的項目	
3	港湾	共通	共通	浚渫船、起重機船等の主作業船 の追加配備及び規格アップ部分	オーバースペック	当該工事内で使用する主作 業船を他作業に使用する場 合は、追加配備及び規格 アップとはならない。
4	港湾	共通	共通	ブロック据付位置の明示方法、ブロックの据付順序、模型によるシミュレーションの実施	標準的項目	
5	港湾	共通	共通	機械式鉄筋継手工法による施工	オーバースペック	協議を要する提案は、評価しない。
6	港湾	浚渫工	共通	土運船の土砂積載制限	標準的項目	
7	港湾	浚渫工	共通	汚濁拡散抑制のための密閉型グ ラブの使用	標準的項目	
8	港湾	本体工	共通	ケーソン据付における作業計画 の立案、事前測量、既設ケーソン の清掃	標準的項目	
9	空港	共通	共通	タイヤローラやアスファルトフィニッシャ等の主作業機械の追加配備及び規格アップ	オーバースペック	
10	空港	共通	共通	制限区域内での観測機器等の常 時設置	オーバースペック	常時設置する提案は、空港 関係者との協議を要するた め、評価しない。
11	共通	共通	性能・機能	施工途中での使用機械、設備の キャリブレーションの実施	標準的項目	
12	共通	共通	性能•機能	出来形・品質管理における自主 管理基準の設定	オーバースペック	管理基準値の厳格化のみの 提案は、評価しない。
13	共通	共通	性能•機能	出来形・品質管理における管理 基準値の明示	標準的項目	管理基準値の明示のみの提 案は、評価しない。
14	共通	共通	性能・機能	特記仕様書に示す出来形確認の ための調査及び試験の追加	オーバースペック	
15	共通	共通	性能•機能	チェックボーリングの追加	オーバースペック	
16	共通	共通	性能・機能 (コンクリート関係)	JIS A 5308に規定する「レディーミクストコンクリート配合計画書」の記載事項及びプラントにおける品質管理	標準的項目	コンクリートに混和材料を添加する提案、また、コンクリートの強度アップ、セメント種別の変更に関する提案は評価しない。
17	共通	共通	性能・機能 (コンクリート関係)	コンクリートのひび割れ抑制対策 として骨材に石灰石を使用	標準的項目	石灰石を標準とする生コン 工場があることから評価しない。
18	共通	共通	性能・機能	コンクリート劣化防止剤(表面含 浸剤等)の使用	オーバースペック	

						一見衣(2
番号	分類	工種区分	技術テーマ	評価しない提案内容	判定	備考
19	共通	共通	性能・機能	コンクリートの打設時間管理	標準的項目	
20	共通	共通	性能・機能	コンクリート打ち重ねの時間の設定(事前試験等での時間の設定を含む)	標準的項目	施工前・施工中の試験方法 (プロクター貫入抵抗試験 等)に関する提案を含む。
21	共通	共通	性能・機能	コンクリートの打重ね記録ボードの設置	標準的項目	
22	共通	共通	性能・機能	コンクリートの打設・養生時における温度測定	標準的項目	温度測定のみの提案は評価しない。
23	共通	共通	性能・機能	施工中のコンクリート試験の試験 回数の増	オーバースペック	
24	共通	共通	性能・機能	コンクリートの打設高さの管理方法としてバイブレータや型枠等に 目印をつける	標準的項目	
25	共通	共通	性能・機能 (コンクリート関係)	コンクリート締固めに用いる内部 振動機の機種及び締固め作業 (挿入間隔、時間等)に関する提 案	標準的項目	スパイラル型内部振動機に ついても評価しない。
26	共通	共通	性能・機能	コンクリート打継ぎ面(目)への止水材設置、止水剤塗布、打継目 処理剤、打継目接着剤使用	オーバースペック	
27	共通	共通	性能・機能	遅延剤、膨張剤の添加	オーバースペック	
28	共通	共通	性能・機能 (コンクリート関係)	補強材の使用	オーバースペック	鉄筋や短繊維(ショート・ファイバー)など、JIS A 0203に 規定されている補強材を使 用する提案は評価しない。
29	共通	共通	性能・機能	鋼材(鉄筋含む)の防錆対策	オーバースペック	
30	共通	共通	性能・機能	型枠の脱型強度の設定	標準的項目	
31	共通	共通	性能・機能(コンクリート関係)	型枠脱枠後のセパレーター跡の 単純な処理	標準的項目	本体コンクリートと同等以上 の品質を有するモルタル等 で補修する提案は評価しな い。
32	共通	共通	性能・機能	コンクリートの現場養生供試体による圧縮強度確認、シュミットハンマーによる原位置強度確認	標準的項目	
33	共通	共通	性能・機能 (アスファルト関係)	アスファルトの配合に関する提案	標準的項目	特記仕様書に明示されたアスファルト混合物のアスファルトの種類、骨材の最大粒径、マーシャル試験に対する基準値の変更に関する提案は評価しない。
34	共通	共通	性能・機能	中温化剤の添加	オーバースペック	
35	共通	共通	性能・機能 (アスファルト関係)	アスファルト運搬時にダンプ荷台 への付着防止剤の使用、ダンプ 荷台のシート養生、ダンプタイヤ への付着抑制乳剤の使用	標準的項目	

					l	一覧表(3/
番号	分類	工種区分	技術テーマ	評価しない提案内容	判定	備考
36	港湾	共通	性能・機能	トランシットによる矢板・杭の打設 位置の誘導及び確認	標準的項目	
37	港湾	浚渫工	性能・機能	GPS施工管理装置(グラブ浚渫 船用)の使用 (管理ソフト(船体位置表示、掘り 跡表示)を含む)	標準的項目	港湾請負工事積算基準に明 示されたGPS施工管理装置 を使用する提案は評価しな い。
38	港湾	浚渫工	性能・機能	潮位自動転送システムの使用	標準的項目	
39	港湾	基礎工	性能・機能	ブイによる捨石投入及び均し範 囲の管理	標準的項目	
40	港湾	本体工	性能・機能	ケーソンへの中詰材の投入回数・投入量をパソコンで管理	標準的項目	
41	空港	空港舗装工	性能・機能 (アスファルト関係)	屋根付きの材料ストックヤードの あるアスファルトプラントの使用	標準的項目	
42	空港	空港舗装工	性能・機能 (アスファルト関係)	ホットジョイント工法による施工	標準的項目	
43	空港	空港舗装工	性能・機能 (アスファルト関係)	基本施設(滑走路・誘導路)の施工継目部における目地シール (テープ含む)の使用		
44	共通	共通	特別な安全対策	作業中止基準の設定	標準的項目	作業箇所周辺への観測機器 (風向風速計、潮位計、波高 計等)設置についても評価し ない。
45	共通	共通	特別な安全対策	気象・海象情報の入手	標準的項目	作業箇所周辺への観測機器 (風向風速計、潮位計、波高 計等)設置についても評価し ない。
46	共通	共通	特別な安全対策	携帯電話やタブレットによる緊急 地震情報の入手	標準的項目	
47	共通	共通	特別な安全対策	交通整理員、交通誘導員、見張 り員等の人員の追加配置	オーバースペック	
48	共通	共通	特別な安全対策	弾性波探査による空洞調査の追 加	オーバースペック	
49	共通	共通	特別な安全対策	安全教育訓練等の実施、災害時 の避難経路の設定及び安全緊急 対応体制の整備		
50	共通	共通	特別な安全対策	隣接工事会社との調整会議の実 施	標準的項目	
51	共通	共通	特別な安全対策	安全巡視員等による安全パトロールの実施	標準的項目	
52	共通	共通	特別な安全対策	足場に転落防止用設備(手摺り、 ネット、幅木等)の設置	標準的項目	
53	共通	共通	特別な安全対策	陸上において型枠を大組し、高 所作業を低減する	標準的項目	
54	共通	共通	特別な安全対策	安全チョッキ・ヘルメット・スコップ・レーキ等に反射材や識別材を取り付ける		
55	共通	共通	特別な安全対策	カラーコーン、ラバーコーン、ジャンボコーン、照明器具(バルーンライトを含む)等の簡易な安全設備による作業位置、作業通路等の明示		

						一 覧表([/]
番号	分類	工種区分	技術テーマ	評価しない提案内容	判定	備考
56	共通	共通	特別な安全対策	トランシーバー、衛星電話の携帯、無線連絡システムを活用した 現場連絡体制の確保	標準的項目	
57	共通	共通	特別な安全対策	リーフレット、説明会、HP、打合 せ等による関係者への周知	標準的項目	漁業関係者、海事関係者、 地域住民等への工事内容の 周知に関する提案は評価しない。
58	共通	共通	特別な安全対策	現場内及び現場周辺における工事車両、航行船舶等の居眠り・脇 見運転防止装置の使用	標準的項目	
59	港湾	共通	特別な安全対策	安全監視船の追加配備	オーバースペック	
60	港湾	共通	特別な安全対策	赤旗、ブイ、灯浮標を使用した作 業区域の明示	標準的項目	
61	港湾	共通	特別な安全対策	海上衝突予防法にて示された灯 火及び形象物の表示	標準的項目	
62	港湾	共通	特別な安全対策	他工事船舶への安全対策に関す る提案	標準的項目	
63	港湾	共通	特別な安全対策	作業船の運航ルートの設定	標準的項目	
64	港湾	共通	特別な安全対策	作業員(潜水作業従事者含む) の日常的な健康管理、作業前後 及び作業中の体調確認、安全教 育の実施	標準的項目	
65	港湾	共通	特別な安全対策	ダイブコンピュータ等(水深・潜水時間・減圧時間等を表示する機能を備えた機器)の携行による潜水時間管理	標準的項目	
66	港湾	共通	特別な安全対策	減圧時における水中での梯子、 椅子等の使用	標準的項目	
67	港湾	共通	特別な安全対策	潜水作業時における予備空気槽 や予備ボンベの追加配備	標準的項目	
68	港湾	共通	特別な安全対策	航跡波への監視員の配置	標準的項目	
69	港湾	共通	特別な安全対策	作業船係留用常設アンカーの設 置	標準的項目	
70	港湾	共通	特別な安全対策	作業船や監視船にレーダー反射 板設置	オーバースペック	
71	港湾	共通	特別な安全対策	作業船やえい航ロープに垂れ幕 (横断幕)、バルーン、工事看板 (説明板、案内板、PR看板)の設 置や彩色を行う	標準的項目	
72	港湾	共通	特別な安全対策	作業船に灯火及び電光掲示板 (LEDパネル含む)を設置 視認性向上のための回転灯等の 設置	標準的項目	作業船には曳航作業等各作 業毎に灯火、形象物を掲示 することが法定で定められて おり、評価しない。
73	港湾	共通	特別な安全対策	一般船舶と航行中の作業船との 離隔確保の確認 (簡易レーザー距離計による計測 または目視確認)	標準的項目	
74	港湾	共通	特別な安全対策	港湾管理者や港湾利用企業等と 連絡体制を確立し、作業船団の 移動サイクルタイムを設定	標準的項目	
75	空港	共通	特別な安全対策	作業従事者への安全教育等の 実施、制限区域内運行ルート図 を作成配布、運行経路KYマップ の配布	標準的項目	

	43.36		11.45-			,,,,,,
番号	分類	工種区分	技術テーマ	評価しない提案内容	判定	備考
76	空港	共通	特別な安全対策	現場内及び現場周辺におけるエ 事車両の運行計画の作成	標準的項目	
77	空港	共通	特別な安全対策	作業時間に制約のある工事における1日の作業スケジュールの作成及び退出時間の厳守	標準的項目	
78	空港	共通	特別な安全対策	供用空港の夜間工事における故 障機械等の退出方法の設定	標準的項目	技術提案で退出遅延防止対 策を求めた場合を除く。
79	空港	共通	特別な安全対策	供用空港の夜間工事における灯 火の破損防止に関する提案	標準的項目	
80	空港	共通	特別な安全対策	供用空港の工事における作業工 具等の置き忘れに関する提案	標準的項目	工事箇所及び入退出経路に おいて、空港運用に支障を 来さないよう、適切に現場管 理を行わなければならない ため評価しない。
81	空港	共通	特別な安全対策	夜間照明車(機)の退出遅延防 止に関する提案	標準的項目	
82	空港	空港舗装工	特別な安全対策	複数工場の確保による材料等の 供給遅延防止に関する提案	標準的項目	工事工程に合わせて材料の 安定供給を図ることは一般 的な事項であり評価しない。
83	共通	共通	環境の維持	騒音・振動観測における自主管 理基準の設定	オーバースペック	管理基準値の厳格化のみの 提案は、評価しない。
84	共通	共通	環境の維持	騒音・振動対策としての作業機械 の規格ダウン	標準的項目	
85	港湾	共通	環境の維持	汚濁防止膜(枠)の拡張・追加・ 設置及び規格アップ	オーバースペック	特記仕様書に明示している 汚濁防止膜(枠)の設置範囲 (水平・鉛直方向)を広げて 大きくする提案、汚濁防止膜 (枠)のフロートや膜の規格 をアップする提案は評価しない。また、汚濁防止膜(枠)を 追加設置する提案は評価しない。
86	港湾	共通	環境の維持	洗浄石の使用、船上で雑石洗浄	オーバースペック	
87	港湾	共通	環境の維持	汚濁拡散抑制のための凝集剤の 使用	オーバースペック	
88	港湾	共通	環境の維持	汚濁防止膜(枠)移動時のカーテン巻き上げ	標準的項目	
89	港湾	共通	環境の維持	土運船デッキ外周(コーミングの 外側)に止水壁を設置	オーバースペック	通路への設置となり、安全 上の問題が懸念されるため、評価しない。

※当該工事の特記仕様書、港湾工事共通仕様書、空港土木工事共通仕様書に記載されている事項については評価の対象としない。

また、コンクリート標準示方書、港湾工事安全施工指針、潜水作業安全施工指針、空港土木施設施工要領に記載されている、標準的に実施しなければならない事項についても技術提案として評価しない。

工事実績(同種性)	[必須項目]]													
								評価	乗						
			施工	施工能力評価型(工型)	1型)				施工能力評価型(I	価型(I型)			(再3/届世)品外件	(単ひ)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
計 由 別 必 公	評価 評別	施工体制確認型以外		B-C等級向け	A等級向け	向け	A·B·C\$	A·B·C等級向け	[施工計画重視型	施工計画重視型](B·C等級向け)	[施工計画重視型]	型](A等級向け)	坟啊 灰条計	三年(5年)	þ
		=	作業船使	作業船使用の有無	作業船使)	使用の有無	作業船使	作業船使用の有無	作業船使	船使用の有無	作業船使	用の有無	作業船使用の有無	用の有無	四野
			ውስ	なし	ሰዋ	なし	æባ	なし	ውስ	なし	あり	なし	あり	なし	
平成22年度以降に完成し引き渡しの完了した。	A評価	価 5.00 点	4.00 点	7.00 点	4.00 点	7.00 点	4.00 点	7.00 点	1.50 点	2.00 点	1.50 点	3.00 点	1.50 点	3.00点	より同種性の高い工事(※1) の実績有り
同種工事の元請けとし ^{4.} ての施工実績	- 評価	価 0.00 点	0.00 点	0.00 点	0:00 点	0.00 点	0.00 点	0.00 点	一岁 00:00	当 00:0	0.00 点	0.00 点	0.00 点	0.00 点	同種性が認められる工事(※2)の実績有り

※1 実績要件の同種性に加え、「施設」、「工種」、「規模」等について更なる同種性が認められる工事

※2 実績要件と同様の同種性が認められる工事

工事成績「必須項目」															
								計	香						
			施工	施工能力評価型(I	I 型)				施工能力評価型	価型(I型)			计统恒多部件型(5型)	(# 0	
		施工体制確認型以外	B·C等級向け	級向け	A等級向け	机向け	A•B•C≜	A-B-C等級向け	[施工計画重視型	施工計画重視型](B・C等級向け)	[施工計画重視型](A等級向け)	型](A等級向け)	技 們 佐米 計	- (研の) ・ 対	Ĥ
X	<u></u>		作業船使用の有無	用の有無	作業船使)	使用の有無	作業船使	作業船使用の有無	作業船使用の有無	用の有無	作業船使月	用の有無	作業船使	作業船使用の有無	工厂型工
			ውስ	つな	ው	なし	æሀ	なし	ሰዌ	なし	ውያ	なし	ው	なし	
	A評価	5.00 点	5.00 点	学 00.7	5.00 点	7.00 点	5.00 点	7.00 点	3.00 点	3.00 点	3.00 点	4.00 点	3.00 点	4.00 点	80点以上
	B評価	4.54 点	4.54 点	6.36 点	4.54 点	6.36 点	4.54 点	6.36 点	2.72 点	2.72 点	2.72 点	3.63 点	2.72 点	3.63 点	79点以上80点未満
* * * * * * * * * * * * * * * * * * *	C評価	4.09 点	4.09 点	5.72 点	4.09 点	5.72 点	4.09 点	5.72 点	2.45 点	2.45 点	2.45 点	3.27 点	2.45 点	3.27 点	78点以上79点未満
九州地力整備局(海湾空港関係)における当	D評価	3.63 点	3.63 点	当 60.3	3.63 点	5.09 点	3.63 点	5.09 点	2.18 点	2.18 点	2.18 点	2.90 点	2.18 点	2.90 点	77点以上78点未満
該工事種別の請負工事 成績評定点の平均点	巨評価	3.18 点	3.18 点	4.45 点	3.18 点	4.45 点	3.18 点	4.45 点	1.90 点	1.90 点	1.90 点	2.54 点	1.90 点	2.54 点	76点以上77点未満
(対象年度は、令和7年) 12.188 (大十.7 字 12.58) 13.188 (大十.7 字 12.58)	F評価	2.72 点	2.72 点	3.81 点	2.72 点	3.81 点	2.72 点	3.81 点	1.63 点	1.63 点	1.63 点	2.18 点	1.63 点	2.18 点	75点以上76点未満
. 9	na G評価	2.27 点	2.27 点	3.18 点	2.27 点	3.18 点	2.27 点	3.18 点	1.36 点	1.36 点	1.36 点	1.81 点	1.36 点	1.81 点	74点以上75点未満
年度内完了工事、それ 以前は平成31年度(令	H評価	1.81 点	1.81 点	2.54 点	1.81 点	2.54 点	1.81 点	2.54 点	1.09 点	1.09 点	1.09 点	1.45 点	1.09 点	1.45 点	73点以上74点未満
和元年度)~令和5年度 カニフェ車レオス)	1評価	1.36 点	1.36 点	1.90 点	1.36 点	1.90 点	1.36 点	1.90 点	0.81 点	0.81 点	0.81 点	1.09 点	0.81 点	1.09 点	72点以上73点未満
いた1十十つの	い評価	0.90 点	0:30 点	1.27 点	0.90 点	1.27 点	0.90 点	1.27 点	0.54 点	0.54 点	0.54 点	0.72 点	0.54 点	0.72 点	71点以上72点未満
	ス評角	0.45 点	0.45 点	0.63 点	0.45 点	0.63 点	0.45 点	0.63 点	0.27 点	0.27 点	0.27 点	0.36 点	0.27 点	0.36 点	70点以上71点未満
	一評価	0.00 点	0.00 点	0.00 点	0.00 点	0.00 点	0.00 点	0.00 点	0.00 点	0.00 点	0.00 点	0.00 点	0.00 点	0.00 点	70点未満又は成績点なし

※当該工事種別の工事成績評定点が全体平均件数未満で、かつ、全体平均点以上の企業については、補正した工事成績評定点とする。なお、平成30~令和4年度の工事種別平均件数及び平均点数は下表のとおり。

表 令和2年度~令和6年度工事種別平均件数及び平均点数

工事種別	港湾土木	港湾等しゅんせつ	空港等土木	空港等舗装
平均件数	2	3	3	3
平均点数	80.7	80.7	80.6	80.2

[算定方式](例:港湾土木、施工実績1件で工事成績評定点が①81点の場合) ・港湾土木の全体平均件数(②5件)となるよう、全体平均点数(②80.7点)を加算 (①81点+②80.7点+②80.7点+②80.7点+②80.7点)÷③5件=80.76点「平均点:80.7点」[小数第2 位切捨て]

※上表は、令和7年6月1日時点における工事種別毎の平均件数及び平均点数である。 -なお、更新は年1回とし、請負工事成績評定の修正があった場合は、その都度更新する。

表彰実績 [必須項目]																
									計	推						
	ļ			施工	施工能力評価型(工型)	1型)				施工能力評価型(·価型(I型)			++ 代 = 多 = 元	(単位) 開発	
背 亩 万 物	計品		施工体制確認型以外	B·C等	B-C等級向け	砂	协计	A·B·C等級向け	等級向け	[施工計画重視型	[施工計画重視型](B·C等級向け)	[施工計画重視	施工計画重視型](A等級向け)	技術症条評価空(59	(別の)計画	Ĥ
	Ž Ī	計		作業船使	作業船使用の有無	作業船使J	用の有無	作業船使用の有無	用の有無	作業船使	作業船使用の有無	作業船使用の有無	用の有無	作業船使用の有無	用の有無	二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二
				ሰዋ	なし	ሰዋ	なし	6 4	なし	hФ	なし	ሰዋ	なし	ሰዋ	なし	
インフラDX大賞(国土 六法十円等・原来等)		A評価	2.00 点	2.00 点	2.00 点	2.00 点	2.00 点	2.00 点	2.00 点	1.00 点	1.00 点	1.00 点	1.00 点	1.00 点	1.00 点	インフラDX大賞(国土交通大 臣賞、優秀賞) 局長表彰 (優良施工)
ナ 溢・	和位7	B評価	1.50 点	1.50 点	1.50 点	1.50 点	1.50 点	1.50 点	1.50 点	0.75 点	0.75 点	0.75 点	0.75 点	0.75 点	0.75 点	局長表彰(安全施工、インラ DX活用優秀施工(旧IOT活用 工事優秀施工)) 事務所長表彰(優良施工)
1-1	II X	C評価	0.50 点)	一 09:0	学 05:0	0.50 点	0.50 点	0.50 点	0.25 点	0.25 点	0.25 点	0.25 点	0.25 点	0.25 点	事務所長表彰 (安全施工、優良担い手)
17た日の翌日から5年以内の実績		一章平価	0.00 点	学 00:0	当 00.0	学 00:0	0000 点	00:00 点	0.00 点	0000 点	0:00 岸	一 0000	0.00 点	0.00 点	0.00 点	表彰なし
※ヘンフラDX大賞(IBi-Construction大賞)(国土交通大臣賞、優秀賞)は、令和2年度以降に表彰を受けたものを対象とし、港湾・空港関係に限る	onstruct	ion大賞) (国土交通大臣	五賞、優秀賞,)は、令和2年5	妻以降に表彰:	を受けたもの。	£対象とし、港	湾·空港関係	に限る						

使用作業船	の保	有形態及び環境性能達	成状況 [必須項	目]		
	== /==				加算	点
評価内容	評価段階		評価基準		S型	I 型[標準]
					I 型[施工計画重視型]	Ⅱ型〔標準〕
				新造時の出資比率50%以上	2.50	5.00
			当該作業船が新造船	新造時の出資比率20%以上50%未満	1.75	3.50
		使用作業船を自社保有		新造時の出資比率1%以上20%未満	1.25	2.50
		又は 共同保有(持ち分比率50%以上)	当該作業船が環境性能 (2次規制)を達成	自社保有又は共同保有(持ち分比率50%以上)	2.00	4.00
			当該作業船が環境性能 (1次規制)を達成	自社保有又は共同保有(持ち分比率50%以上)	1.50	3.00
当該工事に使用する作業船の保			当該作業船は環境性能を	達成していない	1.00	2.00
有形態(自社保有				新造時の出資比率50%以上	2.00	4.00
又は共同保有、新造船)、当該作			当該作業船が新造	新造時の出資比率20%以上50%未満	1.25	2.50
業船に設置されて いる原動機の環		使用作業船を共同保有		新造時の出資比率1%以上20%未満	0.75	1.50
境性能達成状 況。	13 段階	(持ち分比率20%以上50%未満)	当該作業船が環境性能 (2次規制)を達成	共同保有(持ち分比率20%以上50%未満)	1.00	2.00
なお、使用する作 業船の保有形態	TAPE		当該作業船が環境性能 (1次規制)を達成	共同保有(持ち分比率20%以上50%未満)	0.75	1.50
における共同保 有の場合の評価			当該作業船は環境性能を	達成していない	0.50	1.00
については、当該 申請者の保有比				新造時の出資比率50%以上	1.75	3.50
率に応じて加点する。			当該作業船が新造船	新造時の出資比率20%以上50%未満	1.00	2.00
		使用作業船を共同保有		新造時の出資比率1%以上20%未満	0.50	1.00
		(持ち分比率20%未満)	当該作業船が環境性能 (2次規制)を達成	共同保有(持ち分比率20%未満)	0.50	1.00
			当該作業船が環境性能 (1次規制)を達成	共同保有(持ち分比率20%未満)	0.375	0.75
			当該作業船は環境性能を	達成していない	0.25	0.50
		なし			0.00	0.00

※ 保有形態の定義の明確化

①自社保有船については、100%自社所有の船舶の他、親会社が50%以上の株式を保有している子会社100%所有の船舶又は親会社と共有で100%所有している船舶とする。また、申請者が最終的に所有者となることを前提として、便宜上、リース会社が建造し保有する船舶であり、且つ、実態として申請者が建造費を含めたリース料を払いつつ自社保有船舶と同等の維持・使用を行う(ファイナンスリース)船舶も自社保有船に含めることができる。

- ②共同保有船については、当該船舶の所有あるいは所有船舶の現行機能を保持するにあたり、新造、改良または機能の追加のために必要な経費を複数の者で負担している船舶をいう。 ※ 環境性能達成とは、「海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律第19条の3」に基づく「窒素酸化物の放出量に係る放出基準」を満足しているもので、作業船に設置されている原動機とは、作業船建造時に設置された原動機とは、作業船建造時に設置された原動機とは、経過措置として従前の海防法の規制を受ける原 動機を含むものとする。
- ※ 当該工事で使用する作業船の複数申請は「可」とする。ただし、評価の一番低い作業船を加算点の対象とする。
- ※ 共同企業体の場合は、代表者又は構成員のいずれかのものでよい。
- ※ 申請作業船の履行期間については、浚渫工事等の単一工種の場合、該当工種施工期間の50%以上とし、防波堤築造工事等の複数工種で使用する場合は、対象工種の全ての施工期間の50%以上 とする。だたし、申請の作業船を複数工種に使用する場合で、作業工程上、拘束期間が長期間[2週間以上]に及ぶなど、連続した作業船の使用が困難な場合においては、複数工種の中で最も施工 期間の長い1工種のみを全期間使用する場合も履行期間を達成したものと見なす。

施工機械等の自社保有状況 [オプション項目]	呆有状法	况 7	プション項目														別網
									計	華							纸一
				施工能	施工能力評価型(工型)	[편]				施工能力評価型(価型(I型)			11年 42 11日 安全	(単し)開発		- 2
評 亩 万 ゆ	計品	并/ 任中	施工体制確認型以外	B·C等級向け	級向け	A等級向け	向け	A•B•C	A-B-C等級向け	[施工計画重視型	[施工計画重視型](B・C等級向け)	[施工計画重視	施工計画重視型](A等級向け)	技術振楽評価架(3位	(いの) 計画	Ĥ	
	Ž Ī	<u></u>		作業船使用の有無	用の有無	作業船使	用の有無	作業船使	作業船使用の有無	作業船使	作業船使用の有無	作業船使	作業船使用の有無	作業船使用の有無	用の有無	二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二	Γſ
				ው	なし	991	なし	あり	なし	ው	なし	あり	なし	₽ 0	なし		業
作業船の自社保有の状況 施工機械の自社保有の 非品	2段階	A評価	ı	ı	2.00 点	ı	2.00 点	1	2.00 点	I	2.00 点	1	2.00 点	1	2.00 点	[作業船] 自社保有あり [施工機械] 自社保有あり	の施工能力」
、かん。 (他社に貸し出している 場合も可とする。)		評価	ı	1	0.00 点	ı	0.00 点	1	0.00 点	I	0.00 点	1	0.00 点	1	0.00 点	数当なし	に関する
※施工機械の自社保有は、100%自社所有している機械をいう。	‡、100%崖	1社所有 (ている機械をい	ž,													評

※池土徳機の目在採有 は、100%目在所有している機械をいう。 ※作業船の自社保有の考え方は、「使用作業船の保有形態及び環境性能達成状況 [必須項目]」の「※保有形態の定義の明確化」の記載による。

ISOの認証取得状況 [オプション項目]	况 [才	プション	項目]													
									計価	東						
	ļ			施工能	施工能力評価型(工型]	型)				施工能力評価型(I	(正 I)面			《阻马》用于严多目录并		
評 亩 內 伱	計品	#/ #=	施工体制確認型以外	B-C等級向け	级向け	A等級	級向け	A-B-C等級向け	F級向け	[施工計画重視型](B·C等級向け)	_	[施工計画重視型](A等級向け)	型](A等級向け)	汉 测灰米計	(法の)法国	Ħ F
	Ž Ī	1		作業船使用の有無	用の有無	作業船使月	使用の有無	作業船使用の有無	用の有無	作業船使用の有無	の有無	作業船使用の有無	目の有無	作業船使用の有無	目の有無	三里
				あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	መ ሰ	なし	
		A評価	ı	2.00 点	2.00 点	2.00 点	2.00 点	2.00 点	2.00 点	1	2.00 点	2.00 点	2.00 点	2.00 点	2.00 点	「ISO9001」及び「ISO14001」 の両方を取得している
ISO9001及びISO14001 の認証取得状況	3段階	B評価	1	1.00 点	1.00 点	1.00 点	1.00 点	1.00 点	1.00 点	1	1.00 点	1.00 点	1.00 点	1.00 点	1.00 点	「ISO9001」又は「ISO14001」 のいずれかを取得している
		-評価	ı	0.00 点	0.00 点	0.00 点	0.00 点	0.00 点	0.00 点	ı	0.00 点	0.00 点	0.00 点	0.00 点	0.00 点	取得していない

建設未労側女王衛生くインメントンスナム寺の認証収付状沈 [4 ノンョン頃	÷ ≻ ∰	ングノア	ンヘイムキツ	, 認証地, 1年.	水流「クィ	ハンヨノ頃日										
									計 価	東 奢						
				施工能	施工能力評価型(I	型)				施工能力評価型(価型(I型)			++ 45 +目 今 577 5	(単し) 単単	
評 角 內 容	即即	进/班号	施工体制確認型以外	4)回機会○・B	級向け	A等級	級向け	A-B-C等	A-B-C等級向け	[施工計画重視型]](B·C等級向け)	[施工計画重視型]	型](A等級向け)	女宫 灰米平面纸	一種である。	Ĥ
	Ž Ī	<u>#</u> .1		作業船使用の有無	用の有無	作業船使月	使用の有無	作業船使)	業船使用の有無	作業船使月	用の有無	作業船使用の有無	用の有無	作業船使用の有無	用の有無	工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工
				'nФ	つな	6 4	なし	ሰዋ	なし	h Q	なし	ውያ	なし	ው	なし	
建設業労働災害防止協 会策定の「建設業労働	対別などの	A評価	ı	2.00 点	2.00 点	2.00 点	2.00 点	2.00 点	2.00 点	ı	2.00 点	2.00 点	2.00 点	2.00 点	2.00 点	建設業労働安全衛生マネジ メントシステム等の認証を取得している
安全衛生マネジクントシステ ム」等の認証取得状況	日日 公子 7		-	学 00:0	学 00:0	0.00 点	0.00 点)。00.0	一 00:00	-	0.00 点	0.00 点	一学 00:0	90.00 点	0.00 点	取得していない

みなよSDGsパートナー登録企業	ナー強動	禄企業	[オプション項目	項目]												
									計	幸						
				施工能	施工能力評価型(工型)	型)				施工能力評価型(1型)	価型(1型)			++ 代 +8 安証		
評 亩 內 伱	即留	-17 (H	施工体制確認型以外	B·C等	B-C等級向け	怨	級向け	A∙B•C≇	A-B-C等級向け	[施工計画重視型](B·C等級向け)	[施工計画重視型](B・C等級向け) [施工計画重視型](A等級向け)	型](A等級向け)	权响 灰条叶加尘(5尘)	(元の) 法国	면 변
	Į	<u> </u>		作業船使	作業船使用の有無	作業船使	作業船使用の有無	作業船使	作業船使用の有無	作業船使用の有無	用の有無	作業船使	作業船使用の有無	作業船使用の有無	用の有無	四四二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二
				あり	なし	ሰዋ	つな	ውያ	なし	ቀሳ	なし	æባ	なし	ው የ	なし	
みなとSDGsパートナー	# H	A評価	I	2.00 点	2.00 点	2.00 点	2.00 点	2.00 点	2.00 点	I	2.00 点	2.00 点	2.00 点	2.00 点	2.00 点	登録有り
登録企業	2段階	-評価	ı	0.00 点	0.00 点	0.00 点	0.00 点	0.00 点	0.00 点	ı	0.00 点	0.00 点	0.00 点	0.00 点	0.00 点	登録なし
担い手育成活動への取組	の取組		[オプション項目]													
									評価	東						
				施工館	施工能力評価型(工型)	型)				施工能力評価型(1型)	価型(I型)			++ 代 = 中 元		
評 亩 內 容	二	<u> </u>	施工体制確認型以外	B·C等	B-C等級向け	A等級	A等級向け	A-B-C≇	A-B-C等級向け	[施工計画重視型	[施工計画重視型](B·C等級向け)	[施工計画重視型](A等級向け)	型](A等級向け)	技气压米平值型(5型)	(別の) 計具	ų į
	Ž Ī	計		作業船使	作業船使用の有無	作業船使用の有無	用の有無	作業船使	作業船使用の有無	作業船使用の有無	用の有無	作業船使用の有無	用の有無	作業船使用の有無	用の有無	二 計 目 点 口
				あり	なし	ሰዋ	なし	あり	なし	ው	なし	あり	なし	ው	なし	
		Ę		1	7	1		1	1		7	7	7	7		・工事動画コンテンシ制在(機
担い手育成活動への取 組	2段階	日 日 十 日	I	2.00 票	2.00.2	2.00 点	2.00 点	2.00 点	2.00 票	I	2.00 無	2.00 点	2.00 点	2.00 黑	2.00 無	影·編集)
		-評価	ı	0.00 点	0.00 点	0.00 点	0.00 点	0.00 点	0.00 点	ı	0.00 点	0.00 点	0.00 点	0.00 点	0.00 点	登録なし
工事の手持ち状況		[オプション項目]	[E]													
									計 価	棄 奪						
	ļ			施工能	施工能力評価型(工型)	型)				施工能力評価型(1型)	価型(I型)			社然相 家師佈刑(C刑)	(単生)(の手具)	
計 亩 內 物	1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	三元/田	施工体制確認型以外	B·C等	B・C等級向け	A等級	級向け	A•B•C\$	A-B-C等級向け	[施工計画重視型	[施工計画重視型](B・C等級向け)	[施工計画重視型](A等級向け)	型](A等級向け)	가시면가	H 0 H =	11 世 日
	I (<u> </u>		作業船使	作業船使用の有無	作業船使用の有無	用の有無	作業船使	作業船使用の有無	作業船使用の有無	用の有無	作業船使用の有無	用の有無	作業船使用の有無	用の有無	₹ 5
				あり	なし	ውስ	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	
九州地方整備局(港湾空港関係)が発注した		A評価	ı	2.00 点	2.00 点	2.00 点	2.00 点	2.00 点	2.00 点	ı	2.00 点	I	I	I	ı	04

		Ĥ	三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三		0/4	14	2件以上
	(1年6/11年年	(別の) 田里	用の有無	なし	1	ı	I
	.阻3/阻断距多目 努井	汉 测 灰米計	作業船使用の有無	ሰዋ	1	1	1
		施工計画重視型](A等級向け)	用の有無	なし	1	1	1
		[施工計画重視]	作業船使用の有無	ሰዋ	1	ı	1
	施工能力評価型(I型)	施工計画重視型](B・C等級向け)	作業船使用の有無	ヿな	2.00 点	1.00 点	学 00:0
基	施工能力評	査 幹車厘場工戦]	作業船使	ሰዋ	_	-	_
評価		A-B-C等級向け	作業船使用の有無	つな	2.00 点	1.00 点	90.00
		A•B•C	作業船使	ሰዋ	2.00 点	1.00 点	90.00
		級向け	用の有無	つな	2.00 点	1.00 点	学 00:0
	([∦] ★ W	作業船使.	ሰዋ	2.00 点	1.00 点	学 00:0
	施工能力評価型(工型	B-C等級向け	作業船使用の有無	ヿな	2.00 点	1.00 点	学 00:0
	施工前	B·C等	作業船使	6 የ	2.00 点	1.00 点	0:00 点
		施工体制確認型以外			1	1	ı
		=11./H	<u>=</u>		A評価	B評価	一評 価
	ļ	計品	Ĭ			3段階	
		評 亩 內 物			九州地方整備局(港湾 空港関係)が発注した 当該事務所関係の工事	(1,000万円以上の全工事(本官・分任官間わず))のうち、令和7年4日から由かた申請事及7(答料	の提出期限日までに落れ決定を受けた工事件数の実績

若手技術者の雇用・育成 [オプション項目]	•育成	[オプシ	ョン項目]													
									計 価	東						
				施工能	施工能力評価型(エ型)	型)				施工能力評価型(I型)	(正 I) 本則			:五年中十十	(III () III	
智 由 牙 物	計品		施工体制確認型以外	B-C等級向け	吸向け	A等級向け	向け	A-B-C≇	A·B·C等級向け	[施工計画重視型](B·C等級向け)		[施工計画重視型	重視型](A等級向け)	女言 放米平面 (3) (3)	(H (A) (H)	Ĥ
	Ž Ē	量		作業船使用の有無	目の有無	作業船使用の有無	目の有無	作業船使用の有無	用の有無	作業船使用の有無	用の有無	作業船使用の有無	用の有無	作業船使用の有無	の有無	二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二
				ሰዋ	なし	ሰዋ	なし	ሰዋ	つな	ሰዋ	なし	ሰዋ	なし	ው የ	なし	
令和5年4月1日以降の 若手技術者の雇用、又 は雇用している若手が		A評価	1	2.00 点	2.00 点	2.00 点	2.00 点	2.00 点	2.00 点	1	2.00 点	ı	ı	1	1	令和5年4月1日以降に若手 技術者を雇用又は、雇用され ている若手が令和5年4月1日 以降に該当資格を取得
資格を取得した場合に 評価する。なお、若手 技術者とは平成7年4月 2月以際に生まれたも	3段階	B評価	1	1.00 点	1.00 点	1.00 点	1.00 点	1.00 点	1.00 点	ı	1.00 点	1	ı	ı	1	令和5年4月1日以降に中学校、高校、高校、高東、大学等を卒業した若手の雇用(若手技術者を除く)
0275.		計価	1	0.00 点	0.00 点	0:00 岸	0:00 点	0.00 点	0.00 点	ı	0.00 点	ı	1	1	I	該当なし

[※] 若手技術者とは、建設業法施行規則第1条に示す学科を卒業したもの、若しくは建設業法施行規則第7条の3の2項に示す資格を有するものとし、 対象となる資格は、建設業法に基づく技術検定合格者(1級又は2級施工管理技士で分野は問わない)とする。

								計価	東 奢						
7.00	H		施工能	施工能力評価型(工	1型)				施工能力評価型(価型(I型)			技術提案評価型(S型	価型(S型)	
評 年 5 物 開		施工体制確認型以外	B-C等級向け		A等級向け	向け	A-B-C≑	A·B·C等級向け	[施工計画重視型	施工計画重視型](B·C等級向け)	[施工計画重視	[施工計画重視型](A等級向け)	標準型	超	Ķ
校			作業船使用の有無	用の有無	作業船使用の有無	目の有無	作業船使	作業船使用の有無	作業船使	作業船使用の有無	作業船使	作業船使用の有無	作業船使用の有無	刊の有無	二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二
			あり	なし	あり	なし	あり	なし	ም ስ	なし	あり	なし	あり	なし	
	B A P 型	I	2.00 点	2.00 点	2.00 点	2.00 点	2.00 点	2.00 点	I	I	I	I	I	ı	NETIS登録「NETIS-A」技術 の活用、且つ活用効果調査 を1件以上実施する。
Nove he € vi ≫		ı	0.00 点	0.00 点	0.00 点	0.00 点	0000 点	0.00 点	ı	ı	ı	1	1	ı	該当なし

※ 試行申請型・フィールド提供型・テーマ設定型、発注者指定型で指定された技術及びICT活用工事において、ICT活用計画に記載された技術以外の新技術

関連分野の技術開発の実績 [オブション項目	の実績	[イブション	項目]													
									計	乗						
i				施工能力	施工能力評価型(工型	型)				施工能力評値	評価型(I型)			11年 42年 1日 李 512	(単ひ)開出	
神 年 5 多 二	平 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田	施工体制確認型以外	(型以外	B-C等級向け	响け	A等級向け	孙	A-B-C等級向け	等級向け	[施工計画重視型](B·C等級向け)](B·C等級向け)	[施工計画重視]	重視型](A等級向け)	女点 佐米 評 旬 望 ((研り)計画	Ŕ
		=======================================	#	作業船使用の有無	3の有無	作業船使	船使用の有無	作業船使用の有無	用の有無	作業船使月	用の有無	作業船使	船使用の有無	作業船使)	作業船使用の有無	二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二
				ውያ	なし	ሰዋ	なし	6 የ	つな	ሰዋ	なし	'nФ	なし	ሰዋ	なし	
当該工事の主要な工種における。今初2年度に		- V 型 V V V V V V V V V V V V V V V V V	2.0	2.00 点	2.00 点	2.00 点	2.00 点	2.00 点	2.00 点	I	2.00 点	2.00 点	2.00 点	2.00 点	2.00 点	「NETISーV」又は「港湾関連 民間技術」の評価を受けた自 社(共同)開発あり
	3段階 E	B評価 -	1.1	1.00 点	1.00 点	1.00 点	1.00 点	1.00 点	1.00 点	I	1.00 点	1.00 点	1.00 点	1.00 点	1.00 点	NETISーA又は特許権の評価 を受けた自社(共同)開発の 実績あり
外とする)	'		0.0	0.00 点	0.00 点	0.00 点	0.00 点	0.00 点	0.00 点	1	0.00 点	0.00 点	0.00 点	0.00 点	0.00 点	該当なし

別紙-2 「企業の施工能力」に関する評価基準

			12 日 日 日 日	<u> </u>		九州地方整備局(港湾空港 関係) 皆内在籍の現場経験 豊富な技術アドバイザーを有 している	現場経験豊富な技術アドバイザーを有している	該当なし				評価項目		GO2 削減に資する建設機 械・機器の使用	該当なし
			(元の) 元皿.	作業船使用の有無	なし	2.00 点	1.00 点	学 00:0			(価型(S型)	標準型	作業船使用の有無	2.00 点	学 00:0
		语多目郑 和	1.2.响龙米时	作業船使	ውስ	2.00 点	1.00 点	学 00:0			技術提案評価型(S型)	二二	作業船使	2.00 点	一 00:00
			型](A等級向け)	作業船使用の有無	なし	2.00 点	1.00 点	学 00:0				型](A等級向け)	作業船使用の有無	2.00 点	一岁 90:00
			[施工計画重視	作業船使	ውስ	2.00 点	1.00 点	一学 00:00				[施工計画重視	作業船使	2.00 点	6.00 点
		施工能力評価型(I型)	[施工計画重視型](B・C等級向け) [施工計画重視型](A等級向け)	作業船使用の有無	なし	2.00 点	1.00 点	0.00 点			施工能力評価型(I型)	[施工計画重視型](B・C等級向け)	作業船使用の有無	1	ı
	華	施工能力評	[施工計画重視型	作業船使	æባ	I	I	I		華	施工能力評	[施工計画重視型	作業船使	- I	ı
	計価		A·B·C等級向け	作業船使用の有無	なし	2.00 点	1.00 点	0.00 点		計価		A等級向け ※B.C等級向けは対象外	作業船使用の有無	2.00 点	0.00 点
			A•B•C	作業船使	æ ህ	2.00 点	1.00 点	0.00 点				A等》 ※B.C等級店	作業船使	2.00 点	0.00 点
			A等級向け	作業船使用の有無	なし	2.00 点	1.00 点	0.00 点				A等級向け	き船使用の有無	2.00 点	0.00 点
		[型]	A等#	作業船使	ውስ	2.00 点	1.00 点	0.00 点			[型)	A等8	作業船使	2.00 点	90.00 点
		施工能力評価型(エ型)	B·C等級向け	作業船使用の有無	なし	I	I	I	/項目]	I	施工能力評価型(11型)	B•C等級向け	作業船使用の有無	, ,	ı
[]		施工育	B·C等	作業船使	æ ነ	I	I	I	「十プション	I .	施工育		作業船使	1	ı
[オプション項]			施工体制確認型以外			ı	I	ı		777		施工体制確認型以外		-	ı
			±7.7±	∄		A詐他	B評価	- 評価	/	1		計価		A評価	- 評価
本制の評		ļ	計品	l I			3段階		カーボン			評価段階		祖公立	
技術アドバイザー体制の評価			智 角 牙 物			配置予定技術者及び技術 指導者以外の者で、次の 19、3)の要件を満たす現 場経験豊富な技術アドバ イザーを対象。 1)配置予定技術者の同種 工事の元請としての施工	2) 九州地方整備局(港湾 2) 九州地方整備局(港湾 空港関係)の発注した工事の元請としての立場[主 任(監理)技術者あるいは 額場代理人]での施工実 積が5件以上 3) 自弁齢昌で、直接的か	つ恒常的な雇用関係があること ること ※施工実績については、 経に完成しては、 にま成しるでは、 にの完成しの完了 した、従事必要期間を満 たすものに限る。	建設現場におけるカーボンニュートラルの推准「オプション項目			評 亩 內 俗		建設現場における602 # 出 4mm 4m # # # # # # # # # # # # # # # #	讲山中间除破,除品包活用左評価

別紙-2 「企業の施工能力」に関する評価基準

		評価項目			SBT認定取得企業である	林当なし
	·価型(S型)	標準型	作業船使用の有無	つな	2.00 点	学 00:0
	技術提案評価型	標	作業船使	ው	2.00 点	0.00 点
		型](A等級向け)	作業船使用の有無	なし	2.00 点	0.00 点
		[施工計画重視型](A等級向け	作業船使	かり	2.00 点	0.00 点
	価型(I型)	[施工計画重視型](B·C等級向け)	用の有無	なし	1	1
基準	施工能力評価型([施工計画重視型	作業船使	ው	I	I
計 価		A等級向け ※B,C等級向けは対象外	作業船使用の有無	なし	2.00 点	0.00 点
		A等》 XB,C等級店	作業船使	かり	2.00 点	0.00 点
		級向け	東用の有無	なし	2.00 点	0.00 点
	[型)	V V 使 V 使 V	作業船使	ው	2.00 点	0.00 点
	施工能力評価型(1型)	B·C等級向け	作業船使用の有無	なし	I	I
	施工育	B·C律	作業船使	あり	I	I
		施工体制確認型以外			I	ı
		評価			A評価	- 計
		評品				2段階
		炒				トる国際の政制を
		評価内				気候変動に関する国際的な枠組みへの取組的な枠組みへの取組

別約	H —	2		企	業(り施コ	に能力
			ħ	工员工		より同種性の高い工事(※1)の 実績有り	同種性が認められる工事(※2) の実績有り
		技術提案評価型(S型)	[標準型]	作業船使用の有無	なし	3.00 点	0.00 点
	莱		施工計画重視型](B·C等級向け)	作業船使用の有無	つな	当,00.8	一学 00:00
	価基	([施工計画重視型	作業船使	ሰዋ	1.50 点	一位 00:00
	址	施工能力評価型	B-C等級向け	作業船使用の有無	なし	学 00.9	00:00 岸
			B·C等	作業船使	ክ	3.00 点	0.00 点
		施工能力評価型(工型)	B-C等級向け	作業船使用の有無	つな	9009	0.00 点
		施工能力割	B·C等	作業船使	ው	3.00 点	一位 00:0
の場合			五/五宗	昌士		A評価	一評価
施工者希望型)(品品	Ĭ		対がいる	2 F文 P音
工事実績(同種性) [必須項目] ICT活用工事(施工			評 亩 內 物			成22年度以降に完成し引き渡しの完了した同種工事の元請け	しての施工実績
睛 H						平成2	として

※1 実績要件の同種性に加え、「施設」、「工種」、「規模」等について更なる同種性が認められる工事

※2 実績要件と同様の同種性が認められる工事

「企業の施工能力」に関する評価基準 別紙一 2

別組	t—	2	ı	企	業0)施_	工能	カ」	に関	する	5評信	西基	準				
			Ħ	二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二		80点以上	79点以上80点未満	78点以上79点未満	77点以上78点未満	76点以上77点未満	75点以上76点未満	74点以上75点未満	73点以上74点未満	72点以上73点未満	71点以上72点未満	70点以上71点未満	70点未満又は成績点なし
		技術提案評価型(S型)	[標準型]	作業船使用の有無	なし	3.00 点	2.72 点	2.45 点	2.18 点	1.90 点	1.63 点	1.36 点	1.09 点	0.81 点	0.54 点	0.27 点	0.00 点
	莱		[施工計画重視型](B·C等級向け)	作業船使用の有無	なし	2.00 点	1.81 点	1.63 点	1.45 点	1.27 点	1.09 点	0.90 点	0.72 点	0.54 点	0.36 点	0.18 点	一学 00:00
	価基	価型(I型)	[施工計画重視型	作業船使	ሰዋ	2.00 点	1.81 点	1.63 点	1.45 点	1.27 点	1.09 点	0.90 点	0.72 点	0.54 点	学 96.0	0.18 点	学 00:0
	址	施工能力評価型	B-C等級向け	作業船使用の有無	なし	月.00.7	是 98.9	5.72 点	5.09 点	4.45 点	3.81 点	3.18 点	2.54 点	1.90 点	1.27 点	当 69.0	当 00:0
			B·C等	作業船使	ውስ	5.00 点	4.54 点	4.09 点	3.63 点	3.18 点	2.72 点	2.27 点	1.81 点	1.36 点	一学 06:0	0.45 点	一位 00:00
		施工能力評価型(工型)	B-C等級向け	作業船使用の有無	なし	7.00 点	号.36 点	5.72 点	5.09 点	4.45 点	3.81 点	3.18 点	2.54 点	1.90 点	1.27 点	一学 69.0)。0.00
		施工能力評	B·C等	作業船使	ውስ	5.00 点	4.54 点	4.09 点	3.63 点	3.18 点	2.72 点	2.27 点	1.81 点	1.36 点	一位 06.0	0.45 点	一位 00:00
			五年	昌		A評価	B評価	C評価	D評価	巨評価	F評価	G評価	H評価	15平(西	甲型の	K評価	一評価
(祖			計品	Ĭ.							40.67.036	日 マヤス P自					
工事成績 [必須項目] ICT活用工事(施工者希望型			評 亩 兄 ゆ							ナミュー 子女 年四 (半 珍分 半 間分) 上げ 1 2 半 計 日 日 1 計 日 1 計 日 2 1 日 1 日 2 1 日 2 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日	い がものは、ではエルで対象//~201、も当び上事性がい時以上事成績評定点の平均点 1.事成績評定点の平均点 / 大争在年十 ~4.57年6月 - D.1 欧ハエナ2字は H. へ4506年 -	、対象4度によった1/40月1日以降からりの米下はもかが44度においるのののののである方式である方式である。それ以前は平成31年度(令和元年度)~からなったが中でもつってましょう。	ᆔᇄᅺᅜᅥᇫᅜᅩᇑᆝᅩᆍᆮᇂᇰᄼ				

※当該工事種別の工事成績評定点が全体平均件数未満で、かつ、全体平均点以上の企業については、補正した工事成績評定点とする。なお、平成30~令和4年度の工事種別平均件数及び平均点数は下表のとおり。

令和2年度~令和6年度工事種別平均件数及び平均点数

空港等舗装	3	80.2
空港等土木	3	90.8
港湾等しゅんせつ	3	80.7
港湾土木	2	80.7
工事種別	平均件数	平均点数

(①81点+②80.7点+②80.7点+②80.7点+②80.7点)÷③5件=80.76点「平均点:<u>80.7点</u>」[小数第2位切捨て]

[算定方式](例:港湾土木、施工実績1件で工事成績評定点が①81点の場合) ・港湾土木の全体平均件数(②5件)となるよう、全体平均点数(②80.7点)を加算

※上表は、今和7年6月1日時点における工事種別毎の平均件数及び平均点数である。 -なお、更新は年1回とし、請負工事成績評定の修正があった場合は、その都度更新する。

※該当工事において、上表に「ICTを活用した施工」の内容を含む場合は以下の評価内容とする。

別紙-2 「企業の施工能力」に関する評価基準

カリボ	~		_				771	ーラ	97 2011			
			Ħ	三甲二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二		全ての段階で全面的に活用する場合				・全ての段階で全面的に活用する計画のはない場合	・活用しない場合	
		技術提案評価型(S型)	[確棄齡]	作業船使用の有無	つな	1.00 点				單 00'0		
				ナトフンツ型		1.00 点				000		
	東			141		1.00 点				000		
	便 番	施工能力評価型(I型)	[施工計画重視型](B・C等級向け)	作業船使用の有無	コな	1.00 点				000		
	趈	施工能力割	[施工計画重視]	作業船使	ሰዋ	1.00 点				000		
			B·C等級向け	作業船使用の有無	なし	1.00 点				000		
			B·C绩	作業船	ሰዋ	1.00 点				可000		
		能力評価型(エ型)	B・C等級向け	作業船使用の有無	なし	1.00 点				0.00		
		施工能力計	B·C等	作業船	ቁ የ	1.00 点				型000		
者希望型)			五年	三		A評価					! :	
ICT活用工事(施工者希望型)			田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	Ĭ						2段階		
ICT活用工事(ICTの活用計画) [必須項目] ICT活月			智 由 功 物				評価対象がなる項目における、全ての段階で全面的に07を活用	177 - C. 178	【基礎工】 「3次元起工測量」、「3次元数量計算」、「ICTを活用した施工」、「3 次元出来形管理」、「3次元データの納品」	【ブロック据付工】 「ICTを活用した施工」、「3次元出来形管理」、「3次元データの納 品」	【空港】 「3次元起エ測量」、「3次元設計 データ作成」、「ICT建設機械による施工」、「3次元出来形管理等の施工管理」、「3次元データの納品」	

別紙-3 「配置予定技術者(技術指導者)等の能力」に関する評価基準

7.00 点 7.00 点 7.00 点 3.50 点 3.50 点	使用の有無なしない。 7.00 点 3.50 点	業船使用の有業船使用の有なり 50 点 7.000 7.000 7.000 7.000 7.000	施工能力評価型(工型 施工体制構態型以外 B・C等級向け 作業船使用の有無 あり なし あり なし おり なし あり なし あり なし また あり なし あり なし あり なし あり なし また また また また また また また また また また また また また
0.00 点	00 章	单 000 単 000	00.0

別紙-3 「配置予定技術者(技術指導者)等の能力」に関する評価基準

万川市	11.	· 3		' HI] /C	技術	包切	スカリガ	1 47 1	∃/ ज ∙ ∣	リノ月ヒ、	רר		প ক	計 1四	1
			Ĥ	二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二		干ሽ学08	79点以上80点未満	78点以上79点未满	77点以上78点未满	76点以上77点未满	75点以上76点未满	74点以上75点未满	73点以上74点未満	72点以上73点未满	71点以上72点未满	70点以上71点未满	70点未満又は成績点なし
		(単位) 開 単元	(別の)別具	作業船使用の有無	なし	4.00 点	3.63 点	3.27 点	2.90 点	2.54 点	2.18 点	1.81 点	1.45 点	1.09 点	0.72 点	0.36 点	0.00 点
		++ 4: 相 字 =:	女宫友米平百姓(5)经	作業船使	ውስ	4.00 点	3.63 点	3.27 点	2.90 点	2.54 点	2.18 点	1.81 点	1.45 点	1.09 点	0.72 点	0.36 点	0.00 点
			[施工計画重視型](A等級向け)	作業船使用の有無	なし	4.00 点	3.63 点	3.27 点	2.90 点	2.54 点	2.18 点	1.81 点	1.45 点	1.09 点	0.72 点	0.36 点	0.00 点
				作業船使	ው	4.00 点	3.63 点	3.27 点	2.90 点	2.54 点	2.18 点	1.81 点	1.45 点	1.09 点	0.72 点	0.36 点	0.00 点
		施工能力評価型(I型)	[施工計画重視型](B·C等級向け)	作業船使用の有無	なし	当,00.8	2.72 点	2.45 点	2.18 点	1.90 点	1.63 点	1.36 点	1.09 点	0.81 点	0.54 点	0.27 点	0.00 点
	東	施工能力評	[施工計画重視型	作業船使	ውስ	3.00 点	2.72 点	2.45 点	2.18 点	1.90 点	1.63 点	1.36 点	1.09 点	0.81 点	0.54 点	0.27 点	0.00 点
	計		A-B-C等級向け	作業船使用の有無	なし	为.00.万	6.36 点	5.72 点	5.09 点	4.45 点	3.81 点	3.18 点	2.54 点	1.90 点	1.27 点	0.63 点	0.00 点
			A•B•C	作業船使	あり	当 00.7	96.9	5.72 点	5.09 点	4.45 点	3.81 点	3.18 点	2.54 点	1.90 点	1.27 点	0.63 点	0000 点
			A等級向け	門の有無	なし	为.00.万	6.36 点	5.72 点	5.09 点	4.45 点	3.81 点	3.18 点	2.54 点	1.90 点	1.27 点	0.63 点	0.00 点
		1型)	A等{	作業船使	æባ	7.00 点	6.36 点	5.72 点	5.09 点	4.45 点	3.81 点	3.18 点	2.54 点	1.90 点	1.27 点	0.63 点	0.00 点
		施工能力評価型(エ型)	B-C等級向け	作業船使用の有無	なし	为.00.万	6.36 点	5.72 点	5.09 点	4.45 点	3.81 点	3.18 点	2.54 点	1.90 点	1.27 点	0.63 点	0.00 点
		施工(作業船使	æ ህ	7.00 点	6.36 点	5.72 点	5.09 点	4.45 点	3.81 点	3.18 点	2.54 点	1.90 点	1.27 点	0.63 点	0.00 点
			施工体制確認型以外			5.00 点	4.54 点	4.09 点	3.63 点	3.18 点	2.72 点	2.27 点	1.81 点	1.36 点	一学 06:0	0.45 点	0.00 点
			五年	計		A評価	B評価	C評価	D評価	E評価	F評価	G評価	H評価	I評価	日本に	不評角	-評価
[B]	·		品品	Ž Ī								1.2校 陌					
工事成績 [必須項目]	*		背 角 內 物						地方整備局(港湾空港 関係)における当該エ	事種別の請負工事成績 評定点の平均点	(対象年度は、令和7年 6月1日以降公告する 室井は合む6年ま、今	条件 はお和2年度~予和6年度内完了工事、	たい前は平成31年度 (令和元年度)~令和5	年度内完了工事と する。)			

別紙-3 「配置予定技術者(技術指導者)等の能力」に関する評価基準

אניכל		<u>၂</u>						y Optim 本生
			Ĥ			海外インフラプロン゙ェクト優秀技術者国土交通大臣賞、 局長表彰	海外インフラプロン゙エクト国土交 通大臣奨励賞、 事務所長表彰	表彰なし
			(元の) 法国	作業船使用の有無	つな	1.00 点	学050	学 00:0
		14 代 相 多記	权心 佐米平面坐(3至	作業船使	ńФ	1.00 点	0.50 点	0.00 点
			[施工計画重視型](A等級向け)	作業船使用の有無	なし	1.00 点	0.50 点	0.00 点
			[施工計画重視	作業船使	6 የ	1.00 点	0.50 点	0.00 点
		価型(I型)	[施工計画重視型](B·C等級向け)	作業船使用の有無	なし	1.00 点	0.50 点	0.00 点
	基	施工能力評価型(1型	酝 骮重匣垾工璵]	作業船使	'nФ	1.00 点	0.50 点	0:00 点
	評価		A-B-C等級向け	作業船使用の有無	なし	2.00 点	1.00 点	0.00 点
			\$O•B•C	作業船使	ሰዋ	2.00 点	1.00 点	0.00 点
			A等級向け	用の有無	つな	2.00 点	1.00 点	学 00.0
		1型)	V 大 表 数	作業船使	ሰዋ	2.00 点	1.00 点	0.00 点
		施工能力評価型(エ型)	B-C等級向け	作業船使用の有無	コな	2.00 点	1.00 点	0.00 点
		施工		作業船使	ሰዋ	2.00 点	1.00 点	0.00 点
			施工体制確認型以外			2.00 点	1.00 点	0.00 点
項目]			五/ 亚	 世		A評価	B評価	
[必須項目			即配	Į.			3段階	
表彰(優秀技術者)			評 亩 乃 伱			【港湾土木工事又は港 湾等しゅんせつ工事の 場合】 海外ハフラッ・エル優秀 技術者国土交通大臣 賞、又は、地方整備局 (港湾空港関係)におけ		の実績 ※元請けとして、現場 代理人又は主任(監理) 技術者として従事し、技 術者表彰(若手優秀技 術者表彰を含む)を受け た工事を対象とする。

別紙-3 「配置予定技術者(技術指導者)等の能力」に関する評価基準

12/1		I K. \ I \ \ C.	7				計価	幸						
		施工創	能力評価型(エ	.型)				施工能力評	価型(I型)			七朱恒安部	(単し)単単	
摇	工体制確認型以外		級向け	A等級	间け	A·B·C等	等級向け	[施工計画重視型	!](B-C等級向け)	[施工計画重視]	型](A等級向け)	汉 " "	() () () () () () () () () () () () () (计用品
		作業船使	用の有無	作業船使月	用の有無	作業船使	用の有無	作業船使	用の有無	作業船使	用の有無	作業船使	用の有無	₫
		æ ነ	なし	ው ም	なし	あり	なし	መ ሰ	なし	あり	なし	あり	なし	
	1	2.00 点	2.00 点	2.00 点	2.00 点	2.00 点	2.00 点	2.00 点	2.00 点	2.00 点	2.00 点	2.00 点	2.00 点	各団体の推奨単位以上を 取得
	1	0.00 点	0:00 点	0.00 点	0.00 点	0.00 点	0:00 点	0.00 点	0:00 点	0.00 点	0.00 点	0.00 点	0.00 点	各団体の推奨単位未満、 又は取得なし
\\		ション頃目												
							評価	華						
		施工創	能力評価型(エ	型)				施工能力評	価型(I型)			H= 47 ++	() 日 上	
	施工体制確認型以外	B·C等	級向け	A等級	向け	A-B-C等	等級向け	[施工計]	旬重視型]	[施工計画重視]	型](A等級向け)	女 急 旋 米 罪	(研究) 計具	ļ E
		作業船使	用の有無	作業船使月	用の有無	作業船使	用の有無	作業船使	用の有無	作業船使	用の有無	作業船使	用の有無	二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二
		ውስ	なし	ውስ	なし	ውስ	なし	ሰዋ	なし	あり	なし	あり	なし	
	1	2.00 点	2.00 点	2.00 点	2.00 点	2.00 点	2.00 点	2.00 点	2.00 点	2.00 点	2.00 点	2.00 点	2.00 点	総合評価にかかる評価ま
	ı	1.00 点	1.00 点	1.00 点	1.00 点	1.00 点	1.00 点	1.00 点	1.00 点	1.00 点	1.00 点	1.00 点	1.00 点	準説明書による
	ı	学 00:0	学 00:0	0.00 点	0.00 点	0.00 点	学 00:0	学 00'0	学 00:0	00:00	0.00 点	0.00 点	0.00 点	資格なし
	A		1.00 1.00	1.00 1.00	施工能力評価型(II型) A等線 作業船使用の有無 作業船使 あり なし あり なし あり なし あり なし あり なし あり なし かり なし かり なし かり なし かり なし かり なし カり カり カり カり カウ カり カウ カり カウ カり カウ	施工能力評価型(I型) A等級向 作業船使用の有無 作業船使用 作業船使用 かり なし あり なし かり なし かり	施工能力評価型(II型) A等級向け	株型型以内 株工能力評価型(II型) A等級向け A・B・C等級向け A・B・C・B・C・B・C・B・C・B・C・B・C・B・C・B・C・B・C・B・	株式能力評価型(II型) A等級向け	Participal	施工能力評価型(1型) 施工能力評価型(1型) 施工能力評価型(1型) 施工能力評価型(1型) (本業船使用の有無 作業船使用の有無 1.00 点 2.00 点 2.	施工能力評価型(I型) 施工能力評価型(I型) 施工能力評価型(I型) 施工能力評価型(I型) 施工能力評価型(I型) A-B-C等級向け (権業船使用の有無 作業船使用の有無 (体業船使用の有無 (体業船使用の有無 (体業船使用の有無 (体業船使用の有無 (体業船使用の有無 (体業船使用の有無 (体業船使用の有無 (本業船使用の有無 (本部的有用) (1.00 点 1.00 点	Fight Fi	100 10

別紙-3 「配置予定技術者(技術指導者)等の能力」に関する評価基準

THU.		Ĥ	二 二 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三		局長表彰(優秀建設現場 従事者)、優秀施工者国土 交通大臣顕彰(建設マス ター)	所長妻彰 (優秀建設現場 従事者)	表彰なし				PAT	Ĥ G	工		船団長に「登録海上起重基 幹技能者」の有資格者を配 置する	船団長に「海上起重作業管理技士」の有資格者を配置 する	上記以外の場合
	(H) (H) H	技感技术平值空(5年)	作業船使用の有無	なし	2.00 点	1.00 点	0.00 点				(用3)用野鸡鱼等井	() () () () () () () () () () () () () (作業船使用の有無	なし	2.00 点	1.00 点	0.00 点
	## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ##	技制体米型	作業船使	ውስ	2.00 点	1.00 点	0.00 点				士然相安部	汉池灰米马	作業船使	ሰዋ	2.00 点	1.00 点	0.00
		[施工計画重視型](A等級向け)	作業船使用の有無	つな	2.00 点	1.00 点	当 00.0					[施工計画重視型](A等級向け)	作業船使用の有無	つな	2.00 点	1.00 点	90.00
		[施工計画重視	作業船使	あり	2.00 点	1.00 点	0.00 点					[施工計画重視	作業船使	ቀሳ	2.00 点	1.00 点	0.00 点
	価型(1型)	[施工計画重視型](B·C等級向け)	作業船使用の有無	なし	2.00 点	1.00 点	0.00 点				価型(I型)	[施工計画重視型](B·C等級向け)	作業船使用の有無	なし	2.00 点	1.00 点	0.00 点
華	施工能力評価型	[施工計画重視型	作業船使	æባ	2.00 点	1.00 点	0.00 点			東	施工能力評価型(I型)	[施工計画重視型	作業船使	ሰዋ	2.00 点	1.00 点	0.00 点
神		等級向け	作業船使用の有無	なし	2.00 点	1.00 点	0.00 点			評		手級向け	用の有無	なし	2.00 点	1.00 点	0.00 点
		A·B·C等級向け	作業船使	あり	2.00 点	1.00 点	0.00 点					A·B·C等級向け	作業船使用の有無	ቁ	2.00 点	1.00 点	0.00 点
		&向け	用の有無	なし	2.00 点	1.00 点	0.00 点					3向け	用の有無	なし	2.00 点	1.00 点	0.00 点
	[類]	A等級向け	作業船使	ይ ሀ	2.00 点	1.00 点	0.00 点				[型)	A等級向け	作業船使	ሰዋ	2.00 点	1.00 点	0.00 点
	施工能力評価型(工型)	B-C等級向け	作業船使用の有無	つな	2.00 点	1.00 点	0.00 点		_		施工能力評価型(工型)	B-C等級向け	作業船使用の有無	つな	2.00 点	1.00 点	90.00
7	施工負	島•C集	作業船使	ሰዋ	2.00 点	1.00 点	学 00:00		[オプション項目		施工創	患O•B	作業船使	ሰዋ	2.00 点	1.00 点	0.00
ログランド		施工体制確認型以外			I	I	I					施工体制確認型以外			1	I	1
			具		A評価	B評価	里 世 世		格[船団				里 社		A評価	B評価	-評価
位 3 4		平田	Ž Ī			3段階	<u> </u>	-	者の資			計品	Ž Į			3段階	
記画 アルカ物化 事有の 次野		評 亩 內 容			元請又は下請予定の現場従事者の九州地方整	備局(港湾空港関係)における表彰実績、又はおける表彰実績、又は指定工種の国土交通大田殿製業績(最彰教実績(表彰を受けけた日の翌日が、カール・アイン・ロール・アイン・ロール・アイン・ロール・アール・アール・アール・アール・アール・アール・アール・アール・アール・ア	17.05mm 女区)		配置予定現場従事者の資格【船団長】			背 亩 內 物				船団長を必要とする工事について、配置予定現場技術者の資格取得状況	

別紙一 3 「配置予定技術者(技術指導者)等の能力」に関する評価基準

別和	~	3		. Hr		ו אנישעיו	אני שרנייו	/竹指得	⊭ੁਚ	U) F	16ノ.	י ני	— 3	りソ	୬ ati	四季公	F						
			阿爾西	<u> </u>		潜水作業指揮者に「特別港 湾潜水技士」の有資格者を 配置する	潜水作業指揮者に「一級港 湾潜水技士」の有資格者を 配置する	上記以外の場合				Æ	工學是		鉄筋エに「登録鉄筋基幹技能者」の有資格者を配置する	型枠エに「登録型枠基幹技能者」の有資格者を配置する	コクリーエに「登録コンリート 圧送基幹技能者」の有資格 者を配置する 土工に「登録機械土工基幹 技能者」の有資格者を配置 する	鉄筋エに「鉄筋1級技能士 (組立)」の有資格者を配置	する 型枠エに「1級型枠施工技 能資格」の有資格者を配置	する コンクリートエ に「1級コンクリート王 ※ 禁杯 丁 柱 終 参校 1の 右 参校	込心土状能具作107年具作 者を配置する +エーロ級等記機構数備	エニニ で	上記以外の場合
		(『光〇)『光光』	(H)	作業船使用の有無	なし	2.00 点	1.00 点	0.00 点			(1) 日 (1) 日 日 (1)	例の別	作業船使用の有無	なし			2.00 点			1.00 点			0.00 点
		は然坦家評価刑(2刑)	1文型 征米时	作業船使	ው	2.00 点	1.00 点	0.00 点			E= == =+ =+> ++	技術技術学学(3学)	作業船使	あり			2.00 点			1.00 点			0.00 点
			型](A等級向け)	目の有無	なし	2.00 点	1.00 点	0.00 点				型](A等級向け)	目の有無	なし			2.00 海			1.00 点			0.00 点
			[施工計画重視型](A等級向け)	作業船使用の有無	6 የ	2.00 点	1.00 点	0.00 点				[施工計画重視型](A等級向け)	作業船使用の有無	あり			2.00 点			1.00 点			0.00 点
		田型(I型)	_	目の有無	なし	2.00 点	1.00 点	0.00 点			五型(I型)	\vdash	目の有無	なし			2.00 点			1.00 点			0.00 点
	東 奢	施工能力評価型([施工計画重視型](B・C等級向け)	作業船使用の有無	ው የ	2.00 点	1.00 点	0.00 点		東 奪	施工能力評価型	[施工計画重視型](B・C等級向け)	作業船使用の有無	あり			2.00			1.00 点			0.00 点
	計 価	٠	-級向け	用の有無	なし	2.00 点	1.00 点	0.00 点		評価		₽級向け	用の有無	なし			2.00 漁			1.00 点			0.00 点
			A·B·C等級向け	作業船使用の有無	ሰዋ	2.00 点	1.00 点	0.00 点				A·B·C等級向け	作業船使用の有無	あり			2.00 点			1.00 点			0.00 点
			向け	用の有無	なし	2.00 点	1.00 点	0.00 点	ョン頃目]			向け	用の有無	なし			2.00 点			1.00 点			0.00 点
		:型)	A等級向け	作業船使	ው	2.00 点	1.00 点	0.00 点	オプシ		(型)	A等級向け	作業船使.	あり			2.00 点			1.00 点			0.00 点
[オプション項目]		施工能力評価型(工型)	級向け	用の有無	なし	2.00 点	1.00 点	0.00 点	H		施工能力評価型(工型)	級向け	作業船使用の有無	なし			2.00 点			1.00 点			0.00 点
		施工角	B-C等級向け	作業船使用の有無	ው	2.00 点	1.00 点	0.00 点	・コンクリートエ		施工創	B·C等級向け	作業船使	あり			2.00 点			1.00 点			0.00 点
配置予定現場従事者の資格[潜水作業指揮者]			施工体制確認型以外			ı	-	ı	配置予定現場従事者の資格【鉄筋工・型枠工			施工体制確認型以外					1			ı			1
各【潜水			計准	≣		A評価	B評価	-評価	各【鉄筋			三 田 田	<u></u>			j. j.	日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日			B評価			評価
≸の資朴		ļ	計品	I (-	3段階		100億利			計品	Į.					 					
}従事者			徽				多で物象の名		従事を			炒							- F				
定現場			E				指揮者活動でした。 関係のおりの対象を対象を対象を対象がある。		定現場			Æ						世枠工・事及び機・	で9 の上 记置予定 資格取∳				
配置予,			評			:	潜水作業指揮者を必要とする工事について、配置予定現場技術者の省格的得味が	2 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	配置予			評価						鉄筋エ・型枠エ・コンク リートエ事及び機械士 エナ、ギー・フェギバ	ムを必要と9 るユ事に ついて、配置予定現場 技術者の資格取得状況				
						· · · · · · · ·	•	<u>- </u>										,,,, _ '	. , 11	·			

別紙-3 「配置予定技術者(技術指導者)等の能力」に関する評価基準

			计用证证	≣ Ķ		配置予定現場従事者の年 師が40歳未満、かつ港湾 潜水技士の資格を保有し ている。	配置予定現場従事者の年 節が40歳未満、かつ潜水 土免許を保有している。	配置予定現場従事者の年 齢が40歳以上である				三 田 田 田	≣		配置予定現場従事者の年 齢が40歳未満である	配置予定現場従事者の年 齢が40歳以上である
			(計の)計画:	作業船使用の有無	なし	2.00 点	1.00 点	0.00 点				技術提案評価型(S型)	作業船使用の有無	ヿな	2.00 点	0.00 点
		计然相参照	1210 京米中	作業船使	あり	2.00 点	1.00 点	0.00 点				技術提案評	作業船使	ውስ	2.00 点	0.00 点
			型](A等級向け)	用の有無	なし	2.00 点	1.00 点	0.00 点				型](A等級向け)	用の有無	なし	2.00 点	0.00 点
			[施工計画重視型](A等級向け)	作業船使用の有無	あり	2.00 点	1.00 点	0.00 点				[施工計画重視型](A等級向け)	作業船使用の有無	ሰዋ	2.00 点	0.00 点
		価型(I型)](B·C等級向け)	用の有無	なし	2.00 点	1.00 点	0.00 点			価型(1型)	回重視型]	用の有無	なし	2.00 点	0.00 点
	基準	施工能力評価型(I	[施工計画重視型](B・C等級向け)	作業船使用の有無	あり	2.00 点	1.00 点	0.00 点		黄	施工能力評価型(I	[施工計画重視型]	作業船使用の有無	ሰዋ	2.00 点	0.00 点
	計		手級向け	用の有無	なし	2.00 点	1.00 点	0.00 点		計		A等級向け	用の有無	なし	2.00 点	0.00 点
			A·B·C等級向け	作業船使用の有無	あり	2.00 点	1.00 点	00:00 点				A等級	作業船使用の有無	æባ	2.00 点	0.00 点
			級向け	作業船使用の有無	なし	2.00 点	1.00 点	0.00 点				級向け	作業船使用の有無	なし	2.00 点	0.00 点
		[型]	A等級	作業船使	あり	2.00 点	1.00 点	0.00 点			[型]	A等級	作業船使	ውስ	2.00 点	0.00 点
		施工能力評価型(エ型)	級向け	作業船使用の有無	なし	2.00 点	1.00 点	0.00 点			施工能力評価型(工型)	級向け	用の有無	なし	2.00 点	0.00 点
1]		施工育	B·C等級向け	作業船使	あり	2.00 点	1.00 点	0.00 点	- [施工育	B·C等級向け	作業船使用の有無	ውያ	2.00 点	0.00 点
[オプション項目			施工体制確認型以外			1	1	1	「オプション項目			施工体制確認型以外			1	1
			± 1.0 m	∄		A評価	B評価	甲世-				開	∄		A配配	甲蟲
者の年		j	計品	Į			3段階	1	者の年			平 松 屋 屋 屋			15 15	Z
配置予定現場従事者の年齢			計 亩 万 物			現場従事者(潜水作業の従事者) 1名以上に若手現場従事者(40歳	未満)を配置する場合。 ※潜水土免許(国家省 格:厚生労働省)の保有 者とし、従事する1工種 (全期間)以上の潜水作 業に従事すること。	※40歳未満とは、「昭和 60年4月2日以降に生ま れた人」を対象とする。	配置予定現場従事者の年齢			評 角 內 %			現場従事者(特殊作業船団の船員、1名以上)に若手現場従事者(40歳未満)を配置する場合。合。、※独上に重任業管理技術を指して、※独上記事作業管理技術を指	士資格の保有者とし、 当該工種の全期間の作 業に従事すること。 ※40歳未満とは、昭和 60年4月2日以降に生ま れた人」を対象とする。

別紙-3 「配置予定技術者(技術指導者)等の能力」に関する評価基準

指定工種の施工実績「	「オプション項目」	/項目]														13.34
								評価	華							124
			施工創	施工能力評価型(11型)	[型)				施工能力評価型(I型	価型(I型)			100 00 00 17 ++	(計)		•
平 年 5 多 字 5 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8		施工体制確認型以外	B·C集	B-C等級向け	A等級	級向け	A•B•C	A-B-C等級向け	[施工計画重視型	施工計画重視型](B·C等級向け)	[施工計画重視型](A等級向け)	型](A等級向け)	女宫 灰米平面 (2 年)	(別の)計員	ķ	•
ar XX	======================================		作業船使	作業船使用の有無	作業船使	用の有無	作業船使	作業船使用の有無	作業船使	作業船使用の有無	作業船使用の有無	用の有無	作業船使用の有無	用の有無	二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二	- 1
			ሰዋ	なし	6 ሞ	なし	æሀ	なし	ውያ	なし	ውያ	なし	መ ስ	なし		یر س
競争参加資格要件内の	A評価	ı	2.00 点	2.00 点	2.00 点	2.00 点	2.00 点	2.00 点	2.00 点	2.00 点	2.00 点	2.00 点	2.00 点	2.00 点	指定する工種において、主 任(監理)技術者又は現場 代理人として従事	_ , ~.,
主任技術者又は監理 技術者に関する要件 3段階 (同種要件)」で設定して 1が1、発注者が指定	皆評価 B	I	1.00 点	1.00 点	1.00 点	1.00 点	1.00 点	1.00 点	1.00 点	1.00 点	1.00 点	1.00 点	1.00 点	1.00 点	指定する工種において担当技術者として従事	~r:: H \
ずる工種の施工実績	- 評価	ı	0.00 点	0:00 点	0:00 点	0.00 点	0.00 点	0.00 点	0.00 点	0.00 点	0.00 点	00:00 点	0.00 点	0.00 点	実績無し	1~L111H
																47 H/ 1
若手技術者の配置「オ	[オプション項目]	頁目]														, -,
								計価	東							130

若手技術者の配置「オプション項目	[17]	ペョン項	[目]														
									計 価	基準							
				施工創	施工能力評価型(エ型)	型)				施工能力評価型(価型(I型)						
智 亩 四 物	評問	計	施工体制確認型以外	B-C等級向け	級向け	A等級	級向け	A等級向け ※B,C等級向けは対象外	:向け けは対象外	(4)](B·C等級向け)	[施工計画重視型](A等級向け)	빈](A等級向け)	技術提案評価型(S型)		評 毎 垣	
				作業船使用の有無	用の有無	作業船使月	吏用の有無	作業船使用の有無	用の有無	作業船使用の有無	用の有無	作業船使用の有無	目の有無	作業船使用の有無	用の有無		
				あり	なし	ውስ	なし	ውስ	なし	ው	なし	あり	なし	ውስ	なし		
		A評価	ı	2.00 点	2.00 点	2.00 点	2.00 点	2.00 点	2.00 点	2.00 点	2.00 点	2.00 点	2.00 点	2.00 点	2.00 点	40歳未満の若手技術者 を、主任「監理)技術者又は 現場代理人として配置	
若手技術者の配置	3段階	B評価	I	1.00 点	1.00 点	1.00 点	1.00 点	1.00 点	1.00 点	1.00 点	1.00 点	1.00 点	1.00 点	1.00 点	1.00 点	40歳未満の若手技術者 を、担当技術者として配置	
		一評価	ı	0.00 点	90.00 点	90.00 点	0.00 点	0.00 点	0.00 点	90.00 点	00:00 点	0.00 点	0.00 点	0.00 点	0.00 点	配置無し	

別紙-3 「配置予定技術者(技術指導者)等の能力」に関する評価基準

	郭 価 基 準	施工能力評価型(1型)	級向け A等級向け [施工計画重視型](B·C等級向け)[施工計画重視型](A等級向け)	船使用の有無 作業船使用の有無 作業船使用の有無 作業船使用の有無 作業船使用の有無 計 価 頃 目	なし あり なし あり なし あり なし あり なし	1 2.00 点 4.6監理)技術者あるいま 現場代理人として3件以上の工事に従事	九州地方整備局(港湾空港の) 本関係)管内において、主任(監理技術者あるいは 日、00 点 1.00 点 1.00 点 1.00 点 1.00 点 34株有とで3件以上 0.14以上 0.14株積を1.01	京 0.00 点 0.00
		([[]						
		拖工能力評価型	布工計画重視型](B·C	作業船使用の		I	I	I
	申	Ţ		用の有無	なし	2.00 点	1.00 点	0.00 点
			A等級	作業船使	ሰ ዋ		1.00 点	
			級向け	5用の有無	なし	2.00 点	1.00 点	0.00 点
		1型)	A等&	作業船使	ው	2.00 点	1.00 点	0.00 点
シ項目]		施工能力評価型(エ型)	B-C等級向け	作業船使用の有無	なし	2.00 点	1.00 点	0.00 点
[オプシ		施工		作業船仓	ው	2.00 点	1.00 点	0.00 点
地域精通度			施工体制確認型以外			I	I	I
真者)の			Ħ H	具		A評価	B評価	里世—
支術指3			計品	Ž Ī			3段階	
配置予定技術者(技術指導者)の地域精通度 [オプション項目]			郭 庙 内 容 野角	X X		令和3年度以降に完成 し引渡しの完了した、指 定する地域内における たった。第一		る。但し、従事必要期間を満たすものに限る。

別紙- 4 「地域貢献等」に関する評価基準

			Ĥ	二一年二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二		当該港湾(港湾海岸等)を所管する直轄事務所との協定を締結し、協定に基づく災害対応の活動実績又は 前線表議を関係を対応の活動実績をは 前線表議あり	当該県内での協定を締結 し、協定に基づく災害対応 の活動実績又は訓練実績 あり	広域(当該県を含む場合に 限る)での協定を締結し、 協定に基づく災害対応の 活動実績又は訓練実績あり	当該県内又は広域 (当該 原を含む場合に限る) での 協定を締結している	協定を締結していない
		(単し)再出	(州の)州里	作業船使用の有無	なし	ı	I	I	ı	1
		(用3/用用)。	牧門佐米 計	作業船使	የ	1	ı	ı	1	ı
			型](A等級向け)	作業船使用の有無	なし	ı	ı	ı	1	1
の場合】			[施工計画重視	作業船使	ውስ	ı	ı	ı	ı	ı
港湾等しゅんせつ工事、港湾等鋼構造物工事の場合】		価型(I型)	[施工計画重視型](B・C等級向け) [施工計画重視型](A等級向け)	作業船使用の有無	ヿな	2.00 点	1.50 点	1.00 点	0.50 点	一一 00.00
巷湾等鋼槹	東 棄	施工能力評価型(I型	[施工計画重視型	作業船使	ሰዋ	2.00 点	1.50 点	1.00 点	0.50 点	0.00 点
つ工事、ジ	評 価		A·B·C等級向け	作業船使用の有無	なし	2.00 点	1.50 点	1.00 点	0.50 点	0.00 点
等しゅんせ			A•B•C	作業船使	ሰዋ	2.00 点	1.50 点	1.00 点	0.50 点	0.00 点
木工事、港湾			△等級向け	船使用の有無	なし	1	I	I	1	I
【港湾土木コ		[型)	A等》	作業船使	ሰዋ	I	I	I	1	I
[必須項目] [氵		施工能力評価型(エ型)	B-C等級向け	作業船使用の有無	なし	2.00 点	1.50 点	1.00 点	0.50 点	0.00 点
		施工能		作業船使	6 4	2.00 点	1.50 点	1.00 点	0.50 点	0.00 点
災害協定(港湾関係に限る)等に基づく活動実績			施工体制確認型以外			2.00 点	1.50 点	1.00	0.50 点	0.00 点
5)等に			进/ 建岩	<u>=</u> +1		A評価	即超日	C評価	D評価	即起-
系に限る		ļ	平田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	Į.				5段階		
對海関			你				に当該県 は地方 智関係 含む、漁 当協定を	所属する 部結して いことを 5年度又 おける 世実績又	び ご ご が ける 実績	
協定(港			亩				申請時において当該県に関する、国又は地方に関する、国又は地方公共団体と港湾関係公共団権と港湾関係(港湾毎岸等を含む、漁港は除く)の災害協定を	締結している(所属する) 団体が協定を締結している場合を含む)ことをいる場合を含む)ことを打り出た、令和6年度又は令和4年度における対象を対象の活動を制造しているがいるがありが高が成りが影対成の活動を	は訓練実績。 ※活動実績及び訓練実 織は、協定に基づく活 動範囲内における実績 とする。	
災害			點				申請 ひろ 国 ない 大田 ない 大田 の 大田	締団い前は災結体の提合害した場と来る	禁婦に対験を表する。 全年 とり の。	

別紙- 4 「地域貢献等」に関する評価基準

		ħ	四門		当該県内の直轄事務所と W の協定を締結し、協定に基 会 づく災害対応の活動実績 N X I X I X I X I X I X I X I X I X I X	当数県内での協定を締結し、協定に基づく災害対応の活動実績又は訓練実績とは訓練実績とは一種であり、	広域(当該県を含む場合に 限る)での協定を締結し、 協定に基づく災害対応の 活動実績又は訓練実績あ り	当該県内又は広域(当該 県を含む場合に限る)での 協定を締結している	協定を締結していない
			志		当該県内の の協定を総 づく災害対 又は訓練9	当該県内で し、協定に の活動実総 あり	広域(当該限る)での対限のでに基づいまでのはおからに基づいまた。 活動実績2り	当該県内Σ 県を含む場 協定を締紀	協定を締総
	(単し) 開井	至(る至)	用の有無	なし	_	1	1	1	1
	# 张相多哲体型(5型)	权则佐来計	作業船使用の有無	ሰዋ	ı	ı	1	1	1
		型](A等級向け)	用の有無	なし	I	1	1	1	1
		[施工計画重視型](A等級向け)	作業船使用の有無	ውያ	I	1	1	1	1
I S	価型(I型)	[施工計画重視型](B·C等級向け)	用の有無	なし	2.00 点	1.50 点	1.00 点	0.50 点	0.00 点
は	施工能力評価型(I型)	.	作業船使用の有無	ሰዌ	2.00 点	1.50 点	1.00 点	0.50 点	一 00:00
二 世 二 世		A-B-C等級向け	作業船使用の有無	なし	2.00 点	1.50 点	1.00 点	0.50 点	0.00 点
		A•B•C	作業船使	ሰዋ	2.00 点	1.50 点	1.00 点	0.50 点	0.00 点
		A等級向(†	使用の有無	なし	I	I	1	1	I
	型)	V 大等	作業船使	ሰዋ	I	I	1	1	I
	施工能力評価型(I型)	B-C等級向け	作業船使用の有無	つな	2.00 点	1.50 点	1.00 点	0.50 点	一0.00 点
	施工能	B•C等	作業船使	ው	2.00 点	1.50 点	1.00 点	0.50 点	0.00 点
		施工体制確認型以外			2.00 点	1.50 点	1.00 点	0.50 点	0.00 点
			世		A評価	更 世 世	更虚 O	更端 Q	里地—
		計品	Ž Ī				5段階		
H		炒				に当該県 は地方 関協定を 所属する	が指して いことを 3年度又 おける り実績又	び 訓練 実 ご グ 活 する 実 着 1 を 実 着	
というがい アンファン・ボール・ファン・ボール・ファン・ボール・ファン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン		評 価 内				申請時において当該県に関する、国又は地方公共団体と災害協定を 谷共団体と災害協定を締結している(所属する	団体が協定を締結している場合を含む)ことを前提とい、令和6年度又前提とい、令和6年度又ば今和7年度における災害対応の活動実績を指導を表する。	※活動実績及び訓練実 績は、協定に基づ〈活 動範囲内における実績 とする。	

別紙- 4 「地域貢献等」に関する評価基準

近隣地域内工事の実績		[オプション項目	シ項目]													
									計価	東 奢						
				施工能	施工能力評価型(I型)	型)				施工能力評価型(I型)	田型(I型)			++ 化 = 多記	(単し)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
背 角 兄 你	計品	开班	施工体制確認型以外	B-C等級向け	級向け	A等級	等級向け	A-B-C等級向け	手級向け	[施工計画重視型]	[施工計画重視型](B・C等級向け) [施工計画重視型](A等級向け)	[施工計画重視]	型](A等級向け)	女高友米平百年(5年)	(研り)研具	Ĥ
	<u> </u>	1		作業船使	作業船使用の有無	作業船使月	船使用の有無	作業船使	作業船使用の有無	作業船使用の有無	用の有無	作業船使用の有無	用の有無	作業船使用の有無	用の有無	計自項目
				ውስ	なし	ው	なし	ው	なし	あり	なし	あり	なし	ው የ	なし	
国又は地方公共団体発 注による県内の港湾		A評価	2.00 点	2.00 点	2.00 点	I	ı	2.00 点	2.00 点	2.00 点	2.00 点	ı	ı	ı	ı	同港(同空港)での施工実 績あり
(港湾海岸等を含む、漁港は除く)[九州地方整備局管内の空港]にお	3段階	B評価	1.00 点	1.00 点	1.00 点	1	1	1.00 点	1.00 点	1.00 点	1.00 点	ı	ı	1	1	その他の県内港湾(その他の管内空港)での施工実績あり
カライルエイスの社会 施工実績(CORINS登録 工事に限る)		里山 世	0.00 点	0.00 点	0.00 点	I	I	0.00 点	0.00 点	0.00 点	0.00 点	I	1	1	1	施工実績なし
{] [- -		r								•			
工事の催実かつ円消な実施体制としての拠点	消な美	施体制	としての拠点	「オフション項目	い頃目」											
									計 価	東						
				施工能	施工能力評価型(工型)	型)				施工能力評価型(I型)	価型(I型)			++ 化 == 安部	(単し) 開月	
背 亩 內 物	計品	Ħ	施工体制確認型以外	B-C等級向け	級向け	A等級	等級向け	A-B-C等級向け	 等級向け	[施工計画重視型]	[施工計画重視型](B・C等級向け) [施工計画重視型](A等級向け)	[施工計画重視]	型](A等級向け)	技术标件 电线(3年)	一(例の)所国	Ħ
	Ž Ē	里		作業船使	作業船使用の有無	作業船使月	船使用の有無	作業船使	作業船使用の有無	作業船使用の有無	用の有無	作業船使用の有無	用の有無	作業船使用の有無	用の有無	二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二
				ውስ	なし	ሰዋ	なし	ሰዌ	なし	あり	なし	ቃስ	なし	ው የ	なし	
指定する地域内における時代を持ている。	対型化学で	A評価	2.00 点	2.00 点	2.00 点	1	1	2.00 点	2.00 点	2.00 点	2.00 点	1	I	1	-	本店(社)あり
る建設来ぶにためる4 店(社)の有無	居 247	里上。	0.00 点	0.00 点	0.00 点	I	I	一 00:0	0.00 点	00:00	0.00 点	1	I	1	1	本店(社)なし

別紙- 4 「地域貢献等」に関する評価基準

			Į.	1 一 一 二		災害活動に対する表彰・感謝状あり	実績なし					Ĥ	11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11		10年以上雇用する1級土木 施工管理技士等の資格保 有者数が5名以上の場合	10年以上雇用する1級土木 施工管理技士等の資格保 有者数が2名以上の場合	10年以上雇用する1級土木施工管理技士等の資格保有者数が2名未満の場合
			(乗の乗)	の有無	なし	一	I 来	-			() III	((((((((((の有無	なし	100年 日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本	- 104 - 古 - 古 - 古 - 古	- 10名 102
		(阻3)阻Ψ延备银米井	1.8.响龙来叶响	作業船使用の有無	あり	1	ı				E/ 11:2 42 47 47 41	女色旋条背值型(5型)	作業船使用の有無	あり	1	1	1
			型](A等級向け)	用の有無	なし	1	1					型](A等級向け)	用の有無	なし	1	1	I
			[施工計画重視型](A等級向け)	作業船使用の有無	あり	1	1					[施工計画重視型](A等級向け)	作業船使用の有無	あり	1	1	1
		工能力評価型(I型)	[施工計画重視型](B・C等級向け)	作業船使用の有無	なし	2.00 点	0:00 点				施工能力評価型(I型)	[施工計画重視型](B·C等級向け)	作業船使用の有無	なし	2.00 点	1.00 点	一 00:00
	章 葉	施工能力評	[施工計画重視型	作業船使	ውስ	2.00 点	0:00 点			華	施工能力評	[施工計画重視型	作業船使	ው	2.00 点	1.00 点	0.00 点
	評 価		A·B·C等級向け	作業船使用の有無	なし	2.00 点	0.00 点			申		A·B·C等級向け	作業船使用の有無	なし	2.00 点	1.00 点	0.00 点
			A•B•C	作業船使	æባ	2.00 点	0.00 点					A•B•C	作業船使	あり	2.00 点	1.00 点	0.00 点
			等級向け	船使用の有無	なし	1	I					等級向け	船使用の有無	なし	1	1	I
		(季)	A等%	作業船使	ውያ	1	I				(型)	A等%	作業船使	æ ሰ	I	I	I
		施工能力評価型(エ型)	B-C等級向け	作業船使用の有無	なし	2.00 点	0.00 点				施工能力評価型(12型)	B-C等級向け	作業船使用の有無	なし	2.00 点	1.00 点	0.00 点
[日]		施工能		作業船使	ውስ	2.00 点	0.00 点		[オプション項目]		施工能		作業船使	かる	2.00 点	1.00 点	0.00 点
[オプション項			施工体制確認型以外			2.00 点	0.00 点					施工体制確認型以外			2.00 点	1.00 点	可 00:00
			######################################	計		A評価	田平言—		づく信頼			į.	1		A評価	B評価	一評価
表彰•愿		ļ	計品	<u> </u>		700	2段階		有に基			計品	Ž Ī			3段階	
災害活動に対する表彰・感謝状			評 亩 內 物			九州地方整備局(港湾 空港関係)における、災 害活動に対する表彰 (災害復旧等功労業者)	及び感謝状の実績を評価(表彰・感謝状を受けた日の翌日から5年以内)を評価		継続的な技術者保有に基づく信頼度			評 亩 內 容			10年以上雇用する1級 土木施工管理技士等の 参な면方字数の许可	※評価対象資格は「1 級土木施工管理技 土」、「1級建設機械施 工技士」、「技術士(建 設部門または総合技術	管理部門)」とする。 ※資格保有期間は10年 未満でも構わない

「地域貢献等」に関する評価基準 別紙一 4

別制	t —	4		地	域】	貢献等」	に関す	る評価
			Ħ	1 一 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二		営業年数が30年以上継続 している場合	営業年数が15年以上継続 している場合	営業年数が15年未満の場 合
		(単ひ)単単な	女宫林米平首姓(5억)	作業船使用の有無	なし	1	1	ı
		计线相多数		作業船使	ሰዋ	I	I	ı
			[施工計画重視型](A等級向け)	作業船使用の有無	なし	1	1	ı
				作業船使	ሰዋ	1	1	ı
		施工能力評価型(1型)	施工計画重視型](B・C等級向け)	作業船使用の有無	なし	2.00 点	1.00 点	0:00 点
	黄	施工能力評	[施工計画重視型	作業船使	ሰዋ	2.00 点	1.00 点	0:00 岸
	計価		A-B-C等級向け	作業船使用の有無	つな	2.00 点	1.00 点	0:00 岸
			A-B-C	作業船使	ሰዋ	2.00 点	1.00 点	0.00 点
			級向け	作業船使用の有無	つな	I	ı	1
		型)	₩ ∀ ★ ∀	作業船使	ሰዋ	I	I	ı
		施工能力評価型(エ型)	B-C等級向け	作業船使用の有無	つな	2.00 点	1.00 点	0.00 点
]		施工能	B•C等	作業船使	ውስ	2.00 点	1.00 点	0.00 点
-プション項目			施工体制確認型以外			2.00 点	1.00 点	90.00 岸
頁度 [才			Į E	是		A評価	B評価	-評価
づく信頼]	計品	Ž Ē			3段階	
継続的な営業に基づく信頼度「オプション項目			評 亩 內 容				本社(本店)の営業年数 の継続状況	

Pr 価 Pr (等級向け ※A等級向け ※A等級向けは除く ※A等級向けは除く ※ M (基準	施工能力評価型(1型)	[施工計画重視型](B・C等級向付) [施工計画重視型](A等級向付) 技術提案評価型(S型) 評価項目 語価 項目	作業船使用の有無 作業船使用の有無 作業船使用の有無	あり なし あり なし	- 2.00 点 が書時に活用得きる作業 船の自社(共同)保有あり	- 0.00 点 該当むし
Pr 価 Pr (等級向け ※A等級向けは除く			力評価型(I型)		船使用の有無		2.00 点	90.00 点
A等級向け 業船使用の有無 50 なし		田 基	施工能					
				B·C等 ※A等級I		ሰ ዋ	1	ı
				(等級向け	船使用の有無		ı	ı
(イプション 1 1 1 1 1 1 1 1 1	/項目]		(工型)	⋖	作業	ሰ 		
	[オプション		こ能力評価型	B-C等級向け	作業船使用の有無	なし	2.00 点	呼 00:0
	生(共同)保			施工体制確認型以外			2.00 点	90.00
(大同) (本国) (本国) (本国) (本国) (本国) (本国) (本国) (本国	船の自社			計			A評価	- 計
船の自社(共同)保	る作業			時間			वस पर ०	된 조각 7
7 ・	災害時に活用でき			章 年 日 本			災害復旧・復興に活用できる作業船の自社 できる作業船の自社 (共同) 保有状況 ※当該港湾を所管する	直轄事務所と港湾関係 (港湾海岸等を含む、漁 港は除く)の災害協定 等を締結していること。

| | ※作業船の自社保有の考え方は、「別紙一2「企業の施工能力」に関する評価基準 | 使用作業船の保有形態及び環境性能達成状況 | 必須項目]」の「※保有形態の定義の明確化」の記載による。 | ※共同保有については、当該船舶の所有あるいは所有船舶の現行機能を保持するに当り、新造、改良または機能の追加のために必要な経費を複数の者で負担している船舶をいう。なお、持ち分比率は50%以上とする。 | ※他社に貸し出している場合も可とする。 | ※災害時に使用できる作業船とは、グラブ浚渫船、バックホウ浚渫船、起重機船、クレーン付台船を対象とする。

参考資料 1 競争参加資格確認通知書(技術提案評価型(S型) [WTO型含む])

令和 年 月 日

競争参加資格確認通知書

企業名称 株式会社〇〇〇建設

氏名 〇〇 〇〇 殿

支出負担担当官 九州地方整備局副局長

00 00

先に申請のあった下記の調達案件に係わる競争参加資格について、下記の通り確認したので、通知します。

記

公告日	令和	年	月	日				
調達案件名称	0000)OC	000	工事				
入札開始日時	令和	年	月	日	時	分		
入札書提出締切日時	令和	年	月	日	時	分		
内訳書開封予定日時	令和	年	月	日	時	分		
開札予定日時	令和	年	月	日	時	分		
開札予定日時 競争参加資格の有無 技術提案に基づく入札 の可否	令和 有(無) 理由又(件 (本) (本)	は条	こので (平成) で (平成) で が に で が に で が 別 に で が 別 に ご で で で で で で で で で で で で で で で で で で	日 時 分 工事は建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 (12年法律第104号)に基づき、分別解体等及び特定建設 産棄物の再資源化等の実施が義務付けられた工事である 契約に当たり分別解体等の方法、解体工事に要する費 再資源化等をするための施設の名称及び所在地、再資源 こ要する費用を契約書に記載する必要があることから、 図書等に記載された処理方法及び処分場所等を参考に積 と上で入札すること。また、分別解体等の方法等を契約 記載するために、落札者は落札決定後に発注者と協議を こととする。 「否の詳細については、下記を参照すること。 「不の詳細については、下記を参照すること。 「不の詳細については、下記を参照すること。 「記 「不の詳細については、下記を参照すること。 「記 「、加算点を付与する(実施義務有り)」 「、加算点を付与しない(実施義務なし)」 ※:「加算点を付与しない(実施義務なし)」 ※:「加算点を付与しない(実施不可)」				
				○: -: ×: {該当す 【2. 孝 ・○ (配置子	○ (提案 (提案 (提案 (を) (提案 (を) (を) (を) (を) (を) (を) (を) (を) (を) (を)	○○○○○について ③又は②)□□□について ③又は②)△△△について ③又は②)◇◇◇について ③取は②)◇◇◇について ※項目を設定した場合のみ以下を記述}		

参考資料 2 競争参加資格確認通知書(施工能力評価型(I型)[施工計画重視型])

令和 年 月 日

競争参加資格確認通知書

企業名称株式会社○○○建設氏名○○○○殿

支出負担担当官 九州地方整備局副局長

00 00

先に申請のあった下記の調達案件に係わる競争参加資格について、下記の通り確認したので、通知します。

記

公告日	令和	年	月	<u> </u>		
調達案件名称	000	00C	000	工事		
入札開始日時	令和	年	月	日	時	分
入札書提出締切日時	令和	年	月	日	時	分
内訳書開封予定日時	令和	年	月	日	時	分
開札予定日時	令和	年	月	日	時	分
	有(無)					
競争参加資格の有無	理由又作	は条	(平) で の で の で の で の で の で の で の で の で の で	11発 再こ図を記こ	律再当等費記札たる に 細 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	○○○○について 所的所見①又は②)□□□について 所的所見①又は②)△△△について 所的所見①又は②)◇◇◇について 面項目を設定した場合のみ以下を記述} 古後、履行確認を行う評価項目】

参考資料 3 競争参加資格確認通知書(施工能力評価型(Ⅰ型) [標準型])

令和 年 月 日

競争参加資格確認通知書

企業名称 株式会社〇〇〇建設

氏名 〇〇 〇〇 殿

支出負担担当官 九州地方整備局副局長

00 00

先に申請のあった下記の調達案件に係わる競争参加資格について、下記の通り確認したので、通知します。

記

公告日	令和	年	月	日		
調達案件名称	0000	000	000	工事		
入札開始日時	令和	年	月	日	時	分
入札書提出締切日時	令和	年	月	日	時	分
内訳書開封予定日時	令和	年	月	日	時	分
開札予定日時	令和	年	月	日	時	分
競争参加資格の有無	有(無) 理件	は条	(資た用化設算書行) 1 令す な	12室 写こ図と記と	(律) 日本	事に係る資材の再資源化等に関する法律 4号)に基づき、分別解体等及び特定建設 原化等の実施が義務付けられた工事である り分別解体等の方法、解体工事に要する費 するための施設の名称及び所在地、とから、 と契約書に記載する必要があることから、 された処分場所等を参考に積 ること。また、分別解体等の方法等を契約 こ、落札者は落札決定後に発注者と協議を 適否 → 適切(不適切) のみ以下を記述 月○○日付け、入札公告●.(●)に記載 格要件を満たさないため。 した施工計画の項目は下記のとおり 記 項①)□□について 項目を設定した場合のみ以下を記述 後、履行確認を行う評価項目】 カ) (申請のとおり評価) 者の能力) (申請のとおり評価)

参考資料 4 競争参加資格確認通知書(施工能力評価型(Ⅱ型))

令和 年 月 日

競争参加資格確認通知書

企業名称 株式会社○○○建設 氏名 ○○ ○○ 殿

支出負担担当官 九州地方整備局副局長

00 00

先に申請のあった下記の調達案件に係わる競争参加資格について、下記の通り確認したので、通知します。

記

v # n	A T-	<i>F</i>				
公告日	令和	年	月	一日		
調達案件名称	0000				-1.	
入札開始日時	令和	年	月	日	時	分
入札書提出締切日時	令和	年	月	日	時	分
内訳書開封予定日時	令和	年	月	日	時	分
開札予定日時	令和	年	月	日	時	分
競争参加資格の有無	有(無) 理件	は条	(で) 資 た用化設算書行 (主) 会議す (目) は、 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	12 軽 写 と 図 と 己 と と と と と と と と と と と と と と と と	(単記) 年 参 る 締 施 O 定 定 第 資 た を 用 ま す を か に 述 O か 評 結 エ O 技 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	事に係る資材の再資源化等に関する法律 (4号)に基づき、分別解体等及び特定建設原化等の実施が義務付けられた工事でする複り分別解体等の方法、解体工事に必要するための施設の名称及び所在地、再資源を契約書に記載する必要があることか考えとのまた、分別解体等の方法等を参えて、落札者は落札決定後に発注者と協議を 「する技術的所見が不適切な場合のみ ○月〇〇日付け、入札公告●.(●)に記 資格要件を満たさないため。 項目を設定した場合のみ以下を記述 (表現行確認を行う評価項目】 (まカ) (申請のとおり評価) (申請のとおり評価)

※技術提案が適正と認められた場合

提案書

工事名 〇〇〇〇工事

総合評価項目に係る提案(※加算点を付与する対象となるもの)は、以下のとおり

評 価 項 目	000000					
評価テーマ	番 号 提案(見出し)					
〇〇を精度よく施工す	1	△△について				
るための工夫	2	◇◇について				

評 価 項 目	0000	00
評価テーマ	番号	提案(見出し)
〇〇施工時の安全対策	1	△△について
	2	◇◇について

- ※【加算点を付与する対象とならない提案で、実施義務が無いものを施工しない場合】 上記記載以外については、設計図書に基づき施工します。
- ※【加算点を付与する対象とならない提案で、実施義務が無いものを施工する場合】 上記記載以外については、加算点を付与する対象とならず実施義務が無い提案及び 設計図書に基づき施工します。

入札説明書を承諾の上、入札します。

令和 年 月 日

住 所 商号又は名称 代表者氏名

印

支出負担行為担当官 九州地方整備局副局長 殿

※以下は、押印を省略する場合のみ記載すること。 (連絡先は2以上記載すること)

本件責任者(会社名・部署名・氏名):

担当者(会社名・部署名・氏名):

連絡先1:

連絡先2:

※標準案を提出した場合

提案書

「〇〇〇〇工事」に係る性能・機能(、特別な安全対策及び環境の維持)は施工計画(標準案)のとおりである。

令和 年 月 日

住 所

商号又は名称

代表者氏名

印

支出負担行為担当官 九州地方整備局副局長 殿

> ※以下は、押印を省略する場合のみ記載すること。 (連絡先は2以上記載すること)

本件責任者(会社名・部署名・氏名): 担当者(会社名・部署名・氏名):

連絡先1:

連絡先2:

更 新 履 歴

公表年月日	更新内容及び更新箇所	適用年月日
R7.3.28	令和7年度版公表	R7.4.1
R7.5.30	P34、P43 別紙-2「企業の施工能力」に関する評価基準 工事成績[必須項目]、 工事成績[必須項目] ICT活用工事(施工者希望型) (更新前)平成31年度(令和元年度)~令和5年度 (今回更新)令和2年度~令和6年度	R7.6.1
R7.9.30	WLB(ワーク・ライフ・バランス)等を推進する企業に対する加点措置の見直し (全ての工事へ拡大)	R7.10.1